



# 「英語の授業を英語で行う」ための 教室英語と授業例

【完全版】

---

小野田 榮 神田外語大学

[www.oupjapan.co.jp](http://www.oupjapan.co.jp)

オックスフォード大学出版局

オックスフォード大学出版局

# 「英語の授業を英語で行う」ための 教室英語と授業例 【完全版】

小野田 榮 神田外語大学

---

## 目次

---

はじめに	2
教室英語	4
先生のための教室英語	4
生徒のための教室英語	9
授業例と指導ポイント	12
リスニングの授業	12
リーディングの授業	17
スピーキングの授業	23
ライティングの授業	29
辞書を使う授業	34
クリティカル・シンキングを導入する授業	40
多読と多読プログラムの例	45
試験の準備と対策	52

# はじめに

## 英語で授業を行う際のポイント

すでにご承知の通り、文部科学省新学習指導要領では、高校の英語の授業は基本的に英語で行うこととされており、また中学校でもできるだけ英語で行うことが求められている。それでは、どのようにすれば英語で授業を行うことが可能になるのだろうか。大切な点は 2 つある。教師がわかりやすい英語を使うこと、そして、生徒が英語でコミュニケーションを行うように導くことである。また、忘れてならないのは、多くの教師や生徒にとって、英語でのコミュニケーションには、少なからず不安感そして緊張感を伴うものだという点である。私の経験と研究から効果があると思われるものを、下記に挙げてみる。

- (a) 教師の英語力と指導技術を向上させる。授業の基本となる英語力や指導技術が足りなければ、教師は日本語に頼り、文法訳読法から脱却することはできない。また英語でコミュニケーションをする楽しさも理解できず、その楽しさを生徒に伝えることもできないだろう。
- (b) TESOL 関係のセミナーに参加し、英語だけで行う授業を体験し、その指導法を自分の生徒の英語力に合う形にして実践してみる。何事もまずはモデルを見てそれを模倣することから始まる。
- (c) 生徒が関心を持っている大学入試問題の中から、英語での授業にふさわしい問題を選び、それを授業で扱う。
- (d) 「授業中は英語だけ使うこと」というルールを設定し、生徒に守るよう指示する。ルール化しないと日本語に頼ってしまう生徒がいるからである。
- (e) 英語の授業を分割授業にしてもらうように頼み、15～20人の少人数で授業を行う。そして、ペアワークやグループワークを利用する。できれば、各グループに英語力の高い生徒を一人配置するとよい。大人数の前では意見を言わない生徒も、人間関係が良好な少人数の集団の中では、意見を言いやすいと感じるからだ。
- (f) Classroom English (教室で使う英語)の用語集(p. 4 参照)などを利用して教師がわかりやすい英語を話すとともに、生徒が自分の意見を表現できる工夫を取り入れる。
- (g) 活動を英語で効果的に行えるように、活動の手順やそこで用いる構文や表現、単語を事前に指導しておくとともに、課題として自宅で意見等を書かせておく。人間は不安感を抱いているときには、寡黙になるものである。
- (h) Linked skills (他の技能を取り入れた活動)、4/3/2 (p. 36 参照)、多読 (p. 45 参照) などの fluency development<sup>1</sup> (流暢さの育成)の活動を取り入れ、生徒の英語力を向上させるとともに英語を学ぶ楽しさや達成感を体験させる。達成感や喜びは、学習意欲と自信につながるものである。
- (i) 教材や活動を生徒の興味関心、知識、経験と結びつけ、取り組みやすいものにしたたり、oral introduction (口頭導入)などを利用して、テキストの文章を易しい英語に変えて教える工夫をする。
- (j) 4 技能統合型の指導方法を用いて、リーディング活動とリスニング活動から、情報や表現を学ばせ、それをもとに英語で表現させる。
- (k) Meaning-focused output<sup>2</sup> (意味を重視したアウトプット)のような、生徒が自信を持って取り組み、発話できる活動を取り入れる。英語を話す際の障害になるのが、不安感、自信のなさであるからだ。テキストの復習の活動や show and tell (自分の好きな物を提示しながらその説明をする)などのアクティビティは利用価値の高い活動である。
- (l) 生徒の活動に対して肯定的な評価やコメントを与え、学習意欲を高める。教師や ALT からのほめ言葉は、生徒の学習意欲に大きな影響力を及ぼすものである。

1 Nation & Newton, 2009

2 Nation & Newton, 2009

- (m) 生徒が自分の知識やスキルを使ってクラスの他の生徒の学習に貢献し、仲間や教師から肯定的な評価を受けられるような活動を取り入れる。自分の得意とする分野に関するプレゼンテーション、ディスカッション、プロジェクトワークなどを取り入れると効果は大きい。
- (n) 生徒が活動を行っているときは、教師は各ペアやグループを回り、円滑に進めているか確認するとともに、必要に応じて助言したり手助けをする。ペアやグループが行き詰っていることが少なくないからである。
- (o) 日頃から学校生活全般において、教師が生徒と個人レベルでふれあい、お互いに理解し合い、信頼できる関係を構築する。おそらく、この点が、人間のコミュニケーションそして授業にとってもっとも大切なことであると思われる。

## 日本語での指導について

---

ここまで英語で授業を行う方法について述べてきたが、その一方で、日本語で指導したほうが効果的と思われる点について述べておきたい。

- (a) 単語、特に抽象的概念を意味する語の説明
- (b) 単語や表現の記憶
- (c) 文法事項の説明
- (d) 複雑な活動の説明
- (e) 生徒のエッセイやプレゼンテーションに対するコメント
- (f) 時事英語で使われる固有名詞などの表現

このような点は、英語で授業を行う際にどうしたらよいのであろうか？授業は英語で行うというルールを設定しておきながら、教師の方から破ってしまうと信頼をなくすことになりかねない。ひとつの解決策は、日本語で説明した方がよい点に関しては、補助学習として、ハンドアウトなどを利用して、できるだけ自宅など授業外で取り組ませるようにすることである。場合によっては、理解を確認させるため、読解教材の訳文を授業後に配ることも英語で授業を行うことと矛盾はしないと考える。留学生活中英語での生活を送りながら、時折英和辞典で単語や表現の意味を確認することと同じ行為である。英語で授業を行うことの一歩の目的は、英語で話すことに対する生徒の不安感を解消し、授業中の英語での発話を促すことにあるからだ。

小野田 榮

# 教室英語

## ■ 先生のための教室英語 Classroom English for Teachers

英語で授業を行う際に役立つテクニックの一つに、classroom English というものがあります。これは授業の中で教師が説明や指示を出したり、理解を確認する際に使う表現です。決まった表現が多いので一度覚えてしまえば、毎回の授業で簡単に使えるようになります。しかし、同じこと表現するのにいくつか違った表現を覚えておいた方が授業に躍動感が増すでしょう。



授業の開始の挨拶	
Stand up, bow, and sit down.	起立、礼、着席。
Good morning / afternoon, everyone.	みなさん、おはようございます / こんにちは。
Hello, everyone.	みなさん、こんにちは。
It's a beautiful day today, isn't it?	今日は素晴らしい天気ですね。

出席確認	
OK. Let me take attendance.	では、出席をとりましょう。
Is there anyone absent today?	欠席している人はいますか？
Is everyone here?	皆さんいますか？
Did anyone hear anything about (Shugo)?	(修吾) がどうしたか聞いている人はいますか？

授業の開始	
Let's begin today's lesson.	授業を始めましょう。
OK. Let's get started.	では、授業を始めましょう。
Are you ready to study?	勉強する準備はできていますか？
We are going to study about (a new story) today.	今日は (新しい話) について勉強します。

前回の授業の復習及び課題提出	
Why don't we refresh our memories about the last class?	この前の授業の内容を思い出しましょうか？
Let me recap on the previous lesson.	この前の授業のおさらいをしましょう。
First, let's review what we studied in the last lesson.	それでは最初に前回の授業の復習をしましょう。
What did we cover in the last class?	前回の授業はどこまで進みましたか？
Did you do your homework?	宿題をやってきましたか？
Now, please hand in your homework.	では、宿題を提出してください。
Now, let me check the homework.	では、宿題を確認しましょう。

授業中の指示	
Close your textbook.	教科書を閉じてください。
First, I'll play the CD twice, so listen carefully.	最初に CD を 2 回流しますので、注意して聞いてください。
First, I'll give you three questions. Then, listen to the CD and answer them.	最初に 3 つの質問を出します。それから、CD を聞いて質問に答えてください。
Find a partner and check your answers to the questions.	ペアを作ってお互いに質問の答えを確認してください。

授業中の指示 (続き)	
Now open your textbook to (page 21).	教科書 (21 ページ) を開いてください。
Look at the (third line) from the top / bottom.	上から / 下から (3 行目) を見てください。
What does ( <i>I'm in favor of the proposal</i> ) mean ?	( <i>I'm in favor of the proposal</i> ) というのはどういう意味ですか?
Can you paraphrase it ?	別の言葉に言い換えられますか?
Does anyone know what it means ?	その意味がわかる人いますか?
Are there any volunteers who can answer ?	誰か答えてくれる人いますか?
Almost / Close	大体よいですが
Does anybody have any ideas ?	誰か何か考えがありますか?
What do you mean ?	どういう意味ですか?
Can you give an example ?	例を挙げてもらえますか?
I can't hear you clearly. Could you say that a little louder ?	はっきりと聞こえないので、もう少し大きい声で言ってください。

小テストの実施	
I'll hand out the test papers.	テスト用紙を配ります。
We'll have a quiz now.	小テストを行います。
I'll give you 10 minutes to answer.	10 分で解いてください。
Put away your textbook, handouts, and notebooks.	教科書、プリント、ノートをしまってください。
You can only use a pencil and an eraser.	使えるのは鉛筆と消しゴムだけです。
Now you can start.	では、始めてください。
You have two minutes left.	あと 2 分です。
Stop answering the questions and pass the test sheets forward.	解答をやめてテスト用紙を前に送ってください。
Exchange the test sheets with your partner / neighbor.	テスト用紙をパートナー・隣の人と交換してください。
Mark your partner's test sheet with a red pen.	赤ペンでパートナーの答案を採点してください。

アクティビティーの指導	
We are going to do a (communication) activity (using relative pronouns).	(関係代名詞) を使った (コミュニケーション) 活動を行います。
I'll give you a handout / worksheet.	プリントを配ります。
Did everyone get the handout ?	みなさんプリントはもらいましたか?
Is there anyone who did not get the handout ?	プリントをもらっていない人はいますか?
Are there any extra handouts ?	余ったプリントはありますか?
Pass them forward, please.	余りを前に送ってください。
Now read the directions on your own.	では、指示を自分で読んでください
I will explain what we are going to do.	これから行う活動について説明します。
Do you understand what you are going to do ?	どのようにしたらよいか分かりますか?
I want to demonstrate the sample dialogue.	モデルの会話を実演してみたいと思います。

教室で英語を使うことによって、生徒は英語を話すことに対して自信が持てるようになります。

杉山 剛浩 — 名城大学付属高等学校

アクティビティーの指導（続き）	
Can anyone help me ? / Any volunteers ?	誰か手伝ってくれる人いますか？
I'll be A and you'll be B.	私が A の役を演じるので、B の役を演じてください。
Now find a partner and talk about (a person you respect using relative pronouns).	ペアを作って（関係代名詞を使って尊敬する人）について話しましょう。
Be sure to write down your partner's answer.	パートナーの答えを書きとめるのを忘れないようにしてください。
After you have finished talking to your partner, find another partner and repeat.	一人の人と話し終わったら別の人と同じように話してください。
I'll give you (10 minutes).	(10分)で行ってください。
Are you ready ? Go !	準備はよいですか？ 始め！
Time's up. Stop talking and go back to your seat.	時間です。話をやめて席についてください。
Now, I'd like to hear some of your ideas.	それでは、皆さんの考えをお聞きたいと思います。
(Toru,) who did you talk to ?	(徹,) 誰と話したのですか？
Can you describe their ideas ?	その人たちの考えを説明してもらえますか？
Let's move on to the next activity.	次の活動に移りましょう。

ディスカッションの指示	
Make a group of (three) and discuss for (10 minutes).	(3人の) グループを作って、(10分間) 話してください。
Choose a moderator and a reporter first.	まず司会とレポーターを決めてください。
I'll ask the reporter from each group to report their group's opinions to the class later.	後で各グループのレポーターにグループの意見をクラスで発表してもらいます。
Do you understand what you are going to do ?	どのように行うか分かりましたか？
Does anybody have an opinion about this issue ?	この問題に関して意見のある人はいますか？
Now, I'd like to hear your opinions. Reporters, would you share your group's opinions?	それでは、皆さんの意見を聞きたいと思います。レポーターの人、グループの意見を話してもらえますか？

音読の指示	
Read it to yourself. / Read it silently.	黙読してください。
Say it out loud.	声を出して言ってください。
Speak louder.	もっと大きな声で話してください。
Take turns reading the text aloud sentence by sentence.	では順番に一文ずつ音読してください。
Make a pair with your neighbor and read the dialogue aloud. After you read it once, change roles and read it again.	隣の人とペアを組み、会話を音読してください。一度読み終わったら役割を変えてもう一度読んでください。
Think about the feelings of each speaker and read the dialogue with appropriate emotions.	話し手の気持ちを考え、気持ちを込めて会話を読むようにしなさい。

シャドーイングの指示	
Now you are going to listen to (three dialogues between a man and a woman). Repeat exactly what you hear.	これから男性と女性が話す3つの会話を聞きます。聞いた通り繰り返して言ってください。

教室ではシンプルでわかりやすい英語を使うことが大切です。  
辻村 雅美 — 堺市立東百舌鳥中学校

「英語で教える英語の授業」への第一歩は教室で英語を使うことです。教室で使う英語表現の練習には、少なくとも1回分の授業を使ってしっかり指導しましょう。  
吉田 雅子 — 愛知県立中村高等学校

その他	
Who can answer this question ?	この質問に答えられる人いますか?
What do you call (this instrument) in English ? / How do you say (this instrument) in English ?	この楽器を英語で何と言いますか?
It starts with the letter ("s") and has (eight) letters.	それは ("s") で始まる (8) 文字の単語です。
Can you describe / explain it ?	それを説明してもらえますか?

授業の終了時	
We're running short of time, so let's call it a day.	時間がなくなってきたので、今日はこれで終わりにしましょう。
That's all for today.	今日はこれで終わりです。
See you tomorrow / next week.	明日・来週会いましょう。

生徒に対する注意	
Be quiet, please.	静かにしてください。
Stop talking / chatting.	話をやめてください。
Listen carefully.	注意して聞いてください。
Pay attention to what I'm going to say.	私が話すことを注意して聞いてください。
Calm down. / Settle down.	落ち着いてください。

さて、授業を英語で行う際に難しいのが、生徒を褒める表現、正解に至らなかったときに意欲をなくさないように気遣う表現です。いつも *Good!* や *Great!* だけしか使わないと生徒にとって意味のないものになってしまうし、生徒がいつも正しいあるいはこちらが期待する答えを言ってくれる保証はないからです。そのいくつかをご紹介します。

生徒の発表や作品の評価	
Good work. / Good. / Great !	よくできています。
How did you know that ?	よくわかりましたね。
You must be an expert on (British history) !	(イギリスの歴史) の専門家ですね!
You are so knowledgeable / bright.	よく知っていますね。 / 頭脳明晰ですね。
That's interesting. Thanks for contributing your idea to the class.	それは役立ちますね。クラスの皆に考えを提供して下さってありがとうございます。
You are imaginative.	想像力豊かですね。
That's an interesting idea.	それは面白い考えですね。
You know (science) better than I do.	(科学に関しては) 私よりよく知っていますね。
Exactly. / Precisely. / Bingo !	その通りです!
That's a great idea !	よい考えですね。
I think your idea is interesting / appealing.	君の考えは興味深い。 / 説得力がありますね。

教室で英語を使う利点は、本物の言葉が使えるということです。  
授業の間は常に英語にさらされていることになります。

Jonathan Mason — 北海道登別明日中等教育学校

最初の授業を1~2回使って、教室で使う英語表現をまとめて指導しておくといいでしょう。*Great Job.* や *I think so, too!* などはもちろん、*May I...?* などは不可欠の表現です。クラスの結びつきを強め、協力し合う雰囲気づくりにもつながります。また、「発言」や「意見交換」といったオーラル・コミュニケーションの授業では欠くことのできないスキルも養うことができます。

Matthew Diaz — 新潟清心女子高等学校



生徒の発表や作品の評価（続き）	
I like your idea.	君の考え、いいですね。
You are improving.	よくなっていますね。
You worked hard on the assignment.	課題に一生懸命取り組みましたね。
Your English has improved.	英語が上達しましたね。
You speak English very well.	英語を話すのがうまいですね。
I'm proud of you.	あなたのことを誇りに思います。
That's very thought-provoking.	なかなか考えさせられる意見ですね。
Everyone, thank you very much for contributing ideas.	皆さん、考えを提供してくださってありがとうございます。

生徒の答えや考えが正しくなかったときの対応	
That's a nice try.	よく答えてくれました。
That's an idea.	そういう考えもありますね。
That's possible.	それも可能ですね。
That's very close.	惜しいですね。
That's food for thought.	それは考えるきっかけになりますね。
You're getting colder.	正解から遠ざかってしまいましたね。
You're getting warmer.	正解に近づいてきましたね。
You are on the right track.	その方向でよいと思います。
Some people may think so, but that's different from what the author thinks.	そう考える人もいますが、著者の考えとは違いますね。
Don't worry. Your idea is just different from the author's.	気にしないでよいですよ。あなたの考えが筆者の考えと違うだけです。
Actually, I like your idea better than the author's.	実は、筆者の考えよりあなたの考えの方が個人的には好きですね。
Actually, there is no correct answer to this question.	実は、この質問には正解はないのです。

## Q&A クイズ

**Q** ALTと team-teaching を行っているときに、文法の解答解説になったため、ALTに「休んでください。」という意味合いで、“Please take a rest.”と言いました。これは正しい表現でしょうか？

**A** 日本人は、“please”を用いると丁寧な表現になると考えがちですが、この文自体は命令文の形をしているため、強制的なニュアンスが入ってしまいます。“Take a rest”も「授業中のほんの10分程度休む」という意味で使うには大げさです。英語では、“I'll explain today's grammar points, so feel free to relax.”くらいが適当ではないでしょうか？

**Q** 生徒にペアワークを行わせているときに、授業の終わりが近づいたため、活動をやめてもらうように、“Finish the activity.”と言いました。これは正しい表現でしょうか？

**A** 違う意味になってしまいます。動詞の finish は、「(今行っている事を)完了させる」という意味で使います。従って、この場面で“Finish the activity.”と言うと、「活動を今やめるのではなく、「完了させなさい。」という意味になってしまうのです。(直ちに)活動をやめてほしい場合には、“I know some of you haven't finished the activity, but we're running short of time. Can you stop talking and go back to your seat now?”あたりが自然ではないでしょうか？



# 生徒のための教室英語

## Classroom English for Students

英語の授業では、基本的に先生が英語で説明してくれます。最初のうちは難しく感じるかもしれませんが、授業では classroom English とされる決まった表現を使うことが多いので、慣れればよく分かるようになります。その一方で皆さんも classroom English を覚えてできるだけ英語を使って参加するようにしましょう。では勉強していきましょう。



### 授業の開始の挨拶

Stand up, bow, and sit down.	起立、礼、着席。
Good morning / afternoon, Mr. Suzuki.	鈴木先生、おはようございます / こんにちは。
Hello, Ms. Oiwa.	大岩先生、こんにちは。

### 出席確認

<b>Teacher:</b> Who's absent today ?	先生：欠席している人はいますか？
<b>Student:</b> Keiko is absent today. She has a stomachache.	生徒：恵子が腹痛で休みです。
<b>Teacher:</b> Did anyone hear anything about Shugo ?	先生：修吾がどうしたか聞いている人はいますか？
<b>Student:</b> I got an email from Shugo this morning. He can't come to school today because he has been sick for the last few days.	生徒：今朝、修吾からメールがありました。ここ2、3日具合が悪いので今日来れないそうです。

### 前回の授業

<b>Teacher:</b> Do you remember how far we got in the last lesson ?	先生：前回の授業はどこまで進んだか覚えていますか？
<b>Student:</b> I think we studied Part 1 on page 21.	生徒：21 ページの Part 1 を勉強したと思います。



### 授業中の応答

I'm sorry I missed your question.	すみませんが、質問を聞き逃してしまいました。
Where are we ?	今どこを勉強しているのですか？
Ms. Sato, I forgot to bring my textbook today. What should I do ?	佐藤先生、今日教科書を忘れてしまったのですが、どうしたらよいですか？
Can I ask a neighbor if I can look at his textbook ?	隣の人のを見せてもらってよいですか？
Excuse me, can I go to the bathroom ?	すみませんが、トイレに行ってもよいですか？

授業中の応答 (続き)	
I'm sorry. I haven't done my homework.	すみませんが、宿題をするのを忘れました。
I'm sorry, but I can't hear the CD clearly.	CD がよく聞こえません。
Could you turn the volume up ?	ボリュームを上げてもらえますか？
I can't hear you over here.	先生の声がここまで聞こえません。
We don't have enough handouts. Can you give us two more ?	ハンドアウトが足りません。あと2枚いただけますか？
What was the second word / question you said ?	先生が二番目に言った単語・質問は何ですか？
We're not sure whether our answers to the questions are correct or not.	質問の答えが正しいかどうか分からないのですが。
I have a question.	質問があります。
Could you look at the 3rd line from the top / bottom ? It says "I'm in favor of the proposal". What does it mean ?	上から / 下から3行目を見てもらえますか？ "I'm in favor of the proposal." という表現がありますが、どういう意味ですか？
I think I know what that means.	私は意味が分かると思います。
What I mean is . . .	言いたいことは～
OK, I'll try.	分かりました、やってみます。
I still do not understand the directions for the activity.	活動の指示がまだよく分からないのですが。
Could you repeat that ?	もう一度繰り返してもらえますか？
Could you say that again more slowly ?	もう一度もっとゆっくりと言ってもらえますか？

ペアワークやグループワーク	
I don't have a partner.	パートナーがいません。
We have only two people. Should we join another group ?	私たちのグループは2人しかいないのですが、ほかのグループと一緒にやったほうがよいですか？
We are not sure what we are going to do.	どうしたらよいか分からないのですが。

ディスカッション 開始する	
Who wants to be a moderator ?	司会をやりたい人いますか？
I moderated the discussion yesterday, so can one of you moderate today ?	昨日は僕が司会をやったから、今日は君たちの誰かがやってくれない？
Any volunteers ?	やってくれる人いますか？
Should we decide by rocks, scissors, paper ?	ジャンケンで決めますか？

ディスカッション 意見を求める	
What do you think about . . . ? / What's your opinion about . . . ?	～についてどう思いますか？





### ディスカッション 意見を述べる

I think that . . .	～だと思えます。
In my opinion . . .	私の考えでは～
As far as I can tell . . .	私の知る限りでは～

### ディスカッション 同意する

I agree with what you're saying.	君の意見に賛成です。
Exactly !	まさにその通り!
You're right / correct.	君の言う通りです。
I think so, too.	私もそう思います。

### ディスカッション 丁寧に反論する

I know what you mean, but don't you think . . . ?	言いたいことは分かりますが、でも～だと思いませんか?
I see what you're trying to say, but I'm afraid I can't agree with you on that point.	言いたいことは分かりますが、その点については同意できません。

### 友人の発表や作品の評価

Good work. / Good. / Great !	よくできています。
How did you know that ?	よくわかりましたね。
That's informative.	それは役立ちますね。
That's an interesting idea	それは面白い考えですね。
I like your idea.	君の考え、いいですね。
I hadn't thought about that.	そのことは考えもしなかったよ。
You speak English well.	英語を話すのがうまいですね。

## Q&A クイズ

**Q** ALT の先生が、“Call me John.” と言うので、丁寧に “Hello, Mr. John” と呼びかけたら、力のない笑いを浮かべながら、“Hi.” と答えてくれました。失礼な言い方だったのでしょうか？

**A** Mr. / Mrs. / Ms. は、姓を伴って呼びかけるときに使います。従って、Mr. John Smith あるいは、Mr. Smith のように用います。John という first name だけのときは、John とだけ呼びかけてください。先生がそのように呼んでほしいといているので、失礼にあたることはありません。

**Q** 先生が単語テストの後、テスト用紙を回収し忘れていたので、“You had better collect the test papers.” と言ったら、先生の動きが一瞬止まってから、“Oh, yes. Thanks.” と答えました。文法的に正しくなかったのでしょうか？

**A** 言い方が強すぎたものと思われます。この場合の had better は日本語で、「～すべきである」と意味で理解しがちですが、必ずそのようになされることを意味した、言わば命令に近い意味を表します。従って、生徒が先生に使う表現ではありません。このようなときには、“Mr. Suzuki, will you collect the test sheets ?” のように聞くとういでしょう。



# 授業例と指導ポイント

## ■ リスニングの授業

### ◇ リスニング指導のポイント

1. リスニングの指導は、基本的に次のような 3 段階の構成にする。Pre-listening activities (聞く前の準備活動)を取り入れ、理解の鍵となる語彙や背景知識を教え、while-listening activities (聞く活動)では、要旨を理解させることから始め、その後その要旨を説明する細部の理解に導き、post-listening activities (リスニング後の指導活動)では、リスニングで学んだ言語材料や内容を利用して要約や意見を書いたり話し合ったりさせる。
2. 他の技能(リーディング、ライティング、スピーキング)の活動を取り入れ、単語や表現の繰り返し学習を促進することで、学習効果を高めるようにする。
3. ボトムアップ・ストラテジー(文法事項、音、また単語の識別に基づく理解の方法)とトップダウン・ストラテジー(背景知識や文脈を利用した理解の方法)を訓練できるようないろいろなリスニング活動を取り入れる。
4. リスニングのテキストに応じて、predicting (予測)、selective listening (選択的リスニング)、inferring (推測)などのリスニング・ストラテジーを効果的に使用できるように指導する。
5. The four strands of teaching<sup>1</sup> (4つの指導要素)で述べられている、meaning-focused input (易しくて興味を持てる教材を聞く活動)、language-focused learning (文法や単語または音の識別などを学習する活動)や fluency development (多聴のようにリスニングの流暢さを高める活動)などを取り入れながら、meaning-focused output (自分の知っている英語で興味ある事柄について話したり書いたりする活動)も適宜利用する。

### ◇ 授業案

教材	<i>Basic Tactics for Listening, Third Edition</i> Unit 23 Places (p. 90-93)
英語レベル	初中級
授業時間	50分授業 2回
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し手の気持ちや好みを理解できるようにする。</li> <li>・話の概要をつかみ、詳細を聞きとることができるようにする。</li> <li>・文の強勢パターンを理解し、自在に使えるようにする。</li> <li>・特定の場所について、その特徴や印象などを表現する方法を身につける。</li> <li>・自分の好きな町や好きな場所についての魅力を説明できるようにする。</li> </ul>

[各タスクの学習スキルは次のように表示されています。S = スピーキング、L = リスニング、W = ライティング、R = リーディング]

クラス 1 (50分)	
あいさつ [2分]	英語でコミュニケーションを行う雰囲気作りのため、英語で声かけをする(p. 4を参照)。
導入 [5分]	<p>これまでに教師自身が訪れたことのある有名な場所について、写真を使って説明する。それに関して生徒に質問したり、生徒から答えを引き出したりする。[L, S]</p> <p>- Today we're going to learn about how we can describe characteristics of cities and our impressions of them. Look at these pictures. 「今日は、いろいろな場所の特徴を説明したり、その場所の印象を表現する方法を学びます。まずこの写真を見てください」</p> <p>- These are two pictures from my favorite city. Can you guess which city? It's not in Japan. 「この2枚は私が好きな町の写真です。どこかわかりますか? 日本ではありません」</p> <p>- Okay, I will give you some more information. This is a historic city in Britain and it has a famous a castle... Does anybody know where this is? 「それでは、少しヒントを出しましょう。イギリスの由緒ある町で、有名なお城があります……誰かわかる人いますか?」</p>

1 Nation & Newton, 2009

導入	<p>- Bingo. This is Edinburgh. It is well known for the Edinburgh Castle, bagpipes and... 「正解です。答えはエジンバラです。エジンバラ城やバグパイブ……などで有名なところで すね」</p>
Getting Ready [10分]	<p>それぞれの説明文に合う都市を選ばせる。[L, S, R]</p> <p>- Now, we'll go on to Getting Ready. As you can see, there are descriptions of five famous cities from around the world. Read them and match them with the names of the five cities. Number 1 has been already done for you. 「テキストの Getting Ready をやってみましょう。見てわかるように、ここには世界的に有名な5つの都市についての説明文があります。これを読んで、それぞれどの都市の説明か選んでください。1番はすでに答えが書いてあります」</p> <p>- If you come across any difficult words, please raise your hand. I will explain them. 「わからない単語があれば、手をあげてください。説明します」</p> <p>- Are you finished? Okay, which city does number 2 describe? Any volunteers? Good. San Francisco. How did you know? Have you ever been there? 「終わりましたか?それでは、2番の答えはどうですか?わかる人いますか?そうです。サンフランシスコですね。どうしてわかりましたか?サンフランシスコに行ったことがあるのですか?」</p> <p>- Next, number 3... 「次は3番です……」</p>
Listening 1 [10分]	<p>ある場所について話している人の好みを理解できるかどうか確認する。[L, S]</p> <p>- You are going to listen to people describing a particular city. Some of them may like the city, some may only like it a little, and others may not like it at all. Listen carefully and judge their feelings. 「これから、ある場所について説明している人たちの話を聞きます。その場所が好きな人もいれば、まあまあ気に入っているという人もいます。あるいはまったく好きではないという人もいます。よく聞いて、それぞれの人がどう思っているか判断してください」</p> <p>- Okay. For practice, listen to number 1. Does the speaker like the city? 「それでは、まずは練習です。1番を聞いてみましょう。この人はその場所が好きですか?」</p> <p>- What does he say about the city? 「この人はその町について何と言っていますか?」</p> <p>- Does everyone understand how to do the exercise? Okay, good. Listen to the rest of the statements. 「エクササイズのやり方はわかりましたか?はい、それでは残りの問題を聞きましょう」</p> <p>- Finished? Let's check the answers now. 「終わりましたか?それでは答え合わせをしましょう」</p>
Listening 2 [10分]	<p>タスク1: ある町について述べている人の話を聞いて、その人のその場所に対する印象を理解できるかどうか確認する。[L, S]</p> <p>- Now listen to people talking about cities and check the word that best suits their impressions. 「今度は、Listening 2 を聞きます。ここでは、いろいろな人がある町についての印象を述べています。それぞれの人のその場所に対する印象を最もよく表している単語にしるしをつけてください」</p> <p>- Look at the words in the textbook. Are there any words that you don't understand? 「テキストに書いてある単語を見てください。わからない単語はありますか?」</p> <p>- Listen to number 1 first. 「まずは1番の問題を聞いてみましょう」</p> <p>- The answer is that the speaker thinks the city is <i>great</i>. Okay, now listen to the dialogues for numbers 2 to 8. 「答えは“great”です。この人はここを“素晴らしい”と思っているのですね。それでは、2~8番のダイアログを聞きましょう」</p> <p>- Can we check the answers now? What do you think the correct answer is for number 2? 「さあ答え合わせをしましょう。2番の答えは何ですか?」</p> <p>- What does the speaker say? What do you remember? 「この人は何と言っていますか?どんなことを覚えていますか?」</p> <p>タスク2: もう1度ダイアログを聞かせ、重要な部分が聞きとれているかどうか確認する。[L, S]</p> <p>- Listen to the same dialogues again and circle the statement that is true. 「もう1度聞いて、正しい答えに○を付けてください」</p>

音読 [7分]	音声スクリプトを生徒に配り、重要表現やわかりにくい単語の意味などを説明する。[L, R]
	- Take a look at the audio script and check your understanding. 「音声スクリプトを見ながら、どのくらい内容が理解できているか確認しましょう」 - If there are any words that you do not understand, raise your hand and ask me. 「わからない単語があれば、手をあげて聞いてください」
	CD をかけるか、教師がダイアログを読み上げ、生徒はそのあとについて繰り返して言う。内容に応じてできるだけ気持ちを込めて読ませるようにする。[L, S]
Listening 3 [6分]	トピックや内容の口頭導入:生徒がよく知っている町 2 か所について、(写真を用いて)説明する。それぞれの町の特徴を比べながら、生徒からその町について知っていることや印象を引き出す。 何かを比較するときによく使う表現 prefer~to~, like~better, more~ than~ などを紹介する。[L, S]
宿題	a. Practice reading aloud: Using the downloadable audio files, practice reading the dialogues from Listening 2. Try to mimic the emotions of the speakers. 音読: 「音声ファイルをダウンロードして、Listening 2 のダイアログを音読してください。話し手の感情表現をできるだけマネして言うようにしましょう」 [L, S] b. Complete Listening 3 Task 1: Using the downloadable audio files, listen to people comparing two cities and judge which they prefer. Task 2: Using downloadable audio files, listen to the same statements again for details. Listening 3 の完成 タスク1: 「音声ファイルをダウンロードして、2つの町を比べている人の話を聞いてどちらの場所が気に入っているかを聞きとります」 タスク2: 「同じダイアログをもう1度聞き、細かい部分を聞きとります」

クラス 2 (50 分)	
あいさつ [2分]	英語でコミュニケーションを行う雰囲気作りのため、英語で声かけをする(p. 4 を参照)。 - How are you today? Did you do your homework? 「みなさん、元気ですか?宿題はやりましたか?」 - Did you practice reading the dialogues? 「ダイアログの練習はしましたか?」
	生徒を8人選び、Listening 2 のダイアログをロールプレイさせる。[L, S, R, W] - First, let's practice reading the dialogues together. Try to read them naturally so that you can convey the emotions effectively. In other words, you need to act as if you were the speakers. 「まず、ダイアログを一緒に読んでみましょう。気持ちがうまく伝わるようにできるだけ自然に読むようにします。自分が話し手になったつもりで言ってみましょう」 - Find a partner and take turns reading the dialogues together. One student takes the role of A and the other student should take the role of B. 「パートナーを見つけて、役割を交替しながらダイアログを読みます。1人がAの役をやり、もう1人はBの役をやります」 - Now I would like some of you to demonstrate your performance to the class. For the rest of you, I will hand out copies of the evaluation sheets, so listen carefully and evaluate their performance. Please write down some comments for your peers. 「それでは、何人かに発表してもらいます。ほかの人には、この評価シートを配ります。よく聞いて、発表内容を評価してください。また発表した人へのコメントも書きましょう」 発表についてクラス全体で評価する。[L, S] - Okay, all the role-plays are done. Everyone, did you write down some comments? What do you think of the first pair? Any comments? 「さあ、これで発表がすべて終わりました。みんな、コメントは書きましたか? 1番最初に発表してくれた人についてなにか感想はありますか。コメントがある人?」 - Please give you evaluation sheets to the performers. 「発表した人たちに評価シートを渡してください」

<p><b>Listening 3 Tasks 1 and 2</b> [10分]</p>	<p>宿題を確認する。[L, S]</p> <p>- I know you have done these listening tasks, but to refresh your memory, listen to the CD once again. 「このリスニングタスクはみんなもうやったと思いますが、確認のためもう1度CDを聞きましょう」</p> <p>- Now let's check the answers. 「それでは答え合わせをします」</p>
<p><b>Conversation Corner Pronunciation Tasks 1 and 2</b> [10分]</p>	<p>CDを聞かせ、特に文と語の強勢に気をつけて聞くように指示する。このあと、どの単語が強調されていて、どの単語が強調されていないか(すなわち内容語と機能語)を考えさせる。[L, S]</p> <p>- Listen to the CD and repeat. 「CDのあとについて教えてください」</p> <p>- Now listen to the CD and mark the stressed words in your books. 「それではCDを聞いて、強く発音されている単語にしるしをつけてください」</p> <p>- Are you done? Let's check the answers. 「終わりましたか?答え合わせをしましょう」</p> <p>- Do you have any idea what kinds of words are stressed and what kinds of words are not stressed? For example, <i>Melbourne</i>, <i>relaxing</i>, and <i>city</i> are stressed while <i>is</i> is not stressed. So... 「どんな単語が強調されていて、どんな単語が強調されていないかわかりましたか?たとえば、<i>Melbourne</i>、<i>relaxing</i>、<i>city</i>などは強く発音されていますが、<i>is</i>はそうでもありません。つまり……」</p>
<p><b>Conversation Corner Dictation Tasks 1 and 2</b> [10分]</p>	<p>CDを聞きながら空所補充させる。次に、パートナーとこのダイアログの練習をさせる。[L, S, W]</p> <p>- Listen to the dialogues and fill in the blanks. 「ダイアログを聞いて、空欄に正しい語句を入れてください」</p> <p>- Find a partner to check your answers. 「パートナーを見つけて、お互いに答え合わせをしてください」</p> <p>- Practice reading the dialogue with your partner. After you practice a few times, I would like some volunteers to demonstrate the dialogue to the class. 「パートナーと一緒にこのダイアログの練習をしてください。練習が終わったら、何組かのペアに発表してもらいます。」</p> <p>- Do you think they used appropriate stress patterns? Do you have any suggestions for improvement? 「このペアは単語の強弱をうまくつけられていましたか?どんなところを直したらいいと思いますか?」</p>
<p>ショート プレゼンテーション (任意)</p>	<p>テキストの conversation task のかわりに、短いスクリプトを書いてプレゼンテーションをさせる。テーマは、自分がこれまでに訪れたことのある中で最も気に入っている場所について。写真やパワーポイントなどを使うように指導する。[L, S, W]</p> <p>- Using the expressions you have learned so far, I would like you to write a short script to introduce your favorite place, which you will present to the class. 「これまでに習ったいろいろな表現を使って、短いスクリプトを書いてクラスで発表してみましょう。テーマは自分が好きな場所についてです」</p> <p>- I will give you a worksheet with a model script so that you can follow the format. Look for a few pictures that you can use to attract the audience's attention. 「スクリプトのサンプルを配ります。フォーマットを参考にしてください。写真を何枚か使うと見ている人も注目してくれます」</p> <p>- Be sure to talk about three attractive features of the place so that the audience will feel like visiting. 「忘れてならないのは、その場所についてのアピールポイントを3つ入れることです。だれもが行きたくくなるようなポイントを選びましょう」</p> <p>- Also include a few questions to get your audience thinking about your favorite place. 「また、スクリプトには質問事項も入れるようにしましょう。こうすれば、聞いている人にその好きな場所について考えてもらうことができます」</p> <p>- I will give you 15 minutes. 「15分で書いてください」</p> <p>- Are you finished? I know most of you are not finished, but please wrap up and start practicing your presentation. You will present it in the next class. 「できましたか?まだの人も多いと思いますが、うまくまとめ上げて、プレゼンテーションの用意をしてください。発表は次のクラスで行います」</p>



## プレゼンテーションのフォーマットと構成

Good morning, everyone. Today I will talk about one of the best places I've visited, Edinburgh. Do you know where it is? Please look at this world map. Edinburgh is located up here in Scotland. It is the capital of Scotland. Do you know anything about Edinburgh? It's well-known for three things. Look at these pictures. What you think they are? They are... (omitted)

Because of these points, Edinburgh is a great city. Do you think so, too? If you have a chance, why don't you visit Edinburgh? I'm sure you will enjoy what the city has to offer. Thank you very much for your kind attention.

「みなさん、おはようございます。今日は私がこれまで訪れた中で一番気に入っている場所について話をします。それはエジンバラです。どこにあるか知っていますか。地図を見てください。エジンバラはこのあたりです。エジンバラはスコットランドの首都です。みなさん何か知っていることがありますか。エジンバラで有名なのはこの3つです。写真を見てください。何だかわかりますか?その3つとは……(省略)。

これが、私がエジンバラがすばらしいと思うところです。みなさんもそう思いますか?もし機会があれば、ぜひ行ってみてください。必ずこの町の魅力を楽しんでもらえると思います。最後まで聞いてくださってありがとうございました」

リスニングの授業で大事なものは、聞きっぱなしにしないこと。「聞き取れたかどうか」というリスニング・テストはなるべく減らして、「聞いたら何をするのか」、「聞いたことをどう生かすのか」という次の動きに結びつけると、「聞くこと」だけへの過大な緊張感を弱めることができます。聞くことにはリラックスしながら、または無意識に取り組ませて、その次の活動に意識を向けさせましょう。

杉本 薫 一 都立両国高等学校附属中学校

# ■ リーディングの授業

## ◇ リーディング指導のポイント

1. リーディングの指導は、基本的に次のような 3 段階の構成にする。Pre-reading activities (読む前の準備活動)を取り入れ、理解の鍵となる語彙や背景知識を教え、while-reading activities (読む活動)では、要旨を理解させることから始め、その後その要旨を説明する細部の理解に導き、post-reading activities (読後の活動)では、リーディングで学んだ言語材料を利用して内容の要約やそれに対する意見を書いたり話し合ったりさせる。
2. 他の技能 (リスニング、ライティング、スピーキング)の活動を取り入れ、単語や表現の繰り返し学習を促進することで、学習効果を高めるようにする。
3. いろいろなジャンルの教材を利用して、skimming (スキミング)、scanning (スキヤニング)、predicting (予測)、inferring (推測)などのリーディング・ストラテジーを効果的に使えるように指導する。
4. The four strands of teaching<sup>1</sup> (4 つの指導要素)で述べられている、meaning-focused input (易しくて興味が持てる教材を読む活動)、language-focused learning (精読のように単語や文法を学習する活動)や fluency development (多読のように読むことの流暢さを高める活動)などを取り入れながら、meaning-focused output (自分の知っている英語で興味ある事柄について話したり書いたりする活動)も適宜利用する。

## ◇ 授業案

教材	Select Readings, Second Edition, Pre-Intermediate Chapter 1: Are You Getting Enough Sleep?
英語レベル	初中級
授業時間	50 分授業 2 回
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイトルや写真、図、グラフなどを先に読み、文章の大まかな内容を予測する。</li> <li>・睡眠の目的および睡眠不足の悪影響について理解する。</li> <li>・学習した単語や表現を用いて、記事の大まかな内容を英語で表現する。</li> <li>・記事の内容や睡眠不足の悪影響について自分の意見を簡潔に述べるとともに、クラスメートと意見交換をする。</li> </ul>

[各タスクの学習スキルは次のように表示されています。S = スピーキング、L = リスニング、W = ライティング、R = リーディング]

前回の宿題	読む前の活動として、自分の睡眠状況についてのアンケートに答えてきてもらう。ここで背景知識を活性化するとともに、授業で最初に行う oral introduction (口頭導入) の手助けにする。Appendix 1 (p. 21) 参照。[W]
	- Look at the worksheet. Answer the questions and bring the completed survey to class. 「ワークシートを見てください。それぞれの質問に答えてアンケートを完成させて、次回のクラスに持ってきてください」

## クラス 1 (50 分)

あいさつ [2 分]	英語での授業の雰囲気作り、ウォームアップを兼ね、今回の授業のテーマに関することをさりげなく導入する。[L, S]
	<p>- Good morning everyone. Did you sleep well last night? Oh, most of you did. Good. So you are energetic and ready for studying English today? 「みなさん、おはようございます。昨夜はよく眠れましたか。ほとんどの人が良く眠れたようですね。それはよかったです。それでは、今日も元気に英語の勉強が始められますね」</p> <p>- (Satoru), you look a little tired today. Are you okay? Oh, that's too bad. Are you sleepy now? Did you stay awake late last night? 「(サトル)、ちょっと疲れているみたいだけど、大丈夫かな? ああ、それはよくないですね。今眠いのかな? 昨夜は遅くまで起きていたのですか?」</p>

<sup>1</sup> Nation & Newton, 2009

<p><b>インタビュー</b> [10分]</p>	<p>宿題となっていたアンケートのワークシートを利用して、生徒同士でインタビューしながら、意見交換する。[L, S]</p> <p>- Okay, did you do your assignment? 「それでは、みんな宿題はやってきましたか?」</p> <p>- Take out the worksheet. Walk around the classroom, find a partner, and ask them about the questions on the worksheet. You need to talk to at least three people. 「ワークシートを出してください。そして教室の中を歩き回ってパートナーを見つけましょう。見つかったら、ワークシートの質問を見ながらお互いにインタビューしてください。最低3人の人にインタビューするようにします」</p>
<p><b>口頭導入</b> [15分]</p>	<p>インタビューで話した内容を利用して生徒に質問しながら、本文の概要とキーワードを英語で説明する。[L, S]</p> <p>- Close your textbooks. Today we are going to learn about the purpose of sleep and the negative effects sleeplessness has on us. 「テキストを閉じてください。今日は睡眠について、人はなぜ眠る必要があるのか、眠らないとどんな悪影響があるのかを学びます」</p> <p>- I think we all know that sleep is important for us, right? How many hours do you usually sleep at night? How many of you sleep fewer than 6 hours? Okay, how about between 6 and 8 hours? So many of you are not getting a good night's sleep. 「睡眠が大切だということは誰でもわかっていますね。みなさんは毎晩何時間ぐらい寝ていますか。6時間未満だという人は何人ぐらいますか?では、6~8時間だという人は?ちゃんと寝てない人が多いようですね」</p> <p>- What happens to you if you don't sleep well? If you sleep for a short time, how would you feel in the morning? 「ちゃんと寝ていないとどうなると思いますか?睡眠が足りないと、起きた時どんな感じがしますか?」</p> <p>- We are going to take a look at Randy Gardner's experiment and learn what will happen to us if we do not sleep. 「これから、ランディ・ガードナーという高校生が行った実験についての記事を読みます。人は眠らないとどうなるのか見てみましょう」</p> <p>- This is Randy Gardner. When he was a high school student, he decided to do an experiment to find out what effect sleeplessness had on him. Can you guess how long he stayed awake? 「この人がランディ・ガードナーです。ランディは高校生のとき、睡眠をとらないとどんな影響があるのかを調べる実験をすることにしました。この人はいったい何時間起きていたかわかりますか?」</p>
<p><b>本文のリーディング</b> [15分]</p>	<p>テキストの After You Read の A と B を先に読ませて、どのような情報を読み取ればよいか考えさせてから、本文を読ませる。口頭導入で概略を理解しているので、読む前に A, B の質問にはある程度答えられると思われる。[L, S, R]</p> <p>- We're going to read the text next, but before that, why don't you try answering the questions in After You Read A and B? I think you can answer most of them. 「次は本文を読みますが、その前に、After You Read の A と B の質問に答えてみましょう。ほとんどの問題に答えられると思いますよ」</p> <p>- Okay, you can start reading the text. Underline any words, phrases and sentences that you do not understand. 「それでは本文を読んでください。わからない語句や文にはアンダーラインを引いておきましょう」</p>

解説 [8分]	<p>パラグラフごとに CD を流し、要点について生徒にまとめさせるとともに、難しい部分について説明する。[L, S, R]</p>
	<p>- Listen to the CD and discuss the main point of each paragraph. 「CD を聞いて、パラグラフごとに要点を話し合しましょう」</p> <p>- What does the first paragraph tell us? 「最初のパラグラフはどんなことを言っていますか」</p> <p>- Can you summarize the first paragraph? 「このパラグラフの要点をまとめてみてください」</p> <p>- That's perfect. The second sentence describes the main point. He wanted to find out the effects of sleeplessness on humans in his school science project. A university professor and two of his friends helped him with the experiment and he stayed awake for about 11 days and nights. Now I'd like to ask you a question. How do you think he managed to stay awake for such a long time? 「いいですね。要点が書いてあるのは 2 つ目の文です。ランディは学校の科学の時間に行うプロジェクトで、不眠が人間に及ぼす影響を調べようと思いました。大学の教授とランディの友だち 2 人がこの実験を手伝いました。その結果、ランディは 11 日間もずっと起きていたのです。ここでみなさんに質問します。いったいランディはどうやってそんなに長い間眠らずにいられたのでしょうか。」</p>
宿題	<p>Downloadable Audio Center から音声ダウンロードさせ、自宅で音読練習をさせる。また、C. Consider the Issues にある睡眠不足の悪影響について考えさせるとともに、Building Vocabulary の問題を解かせる。[L, R]</p>

## クラス 2 (50 分)

解説 [8分]	<p>前回の解説で終わらなかった部分について解説を加える。[L, S]</p>
Building Vocabulary の解説と 答え合わせ [5分]	<p>英語におけるコロケーションについて説明し、exercise A の解答を確認する。[L, S, R]</p> <p>- In English, there are words that are used together, such as <i>sleep well</i> and <i>fall asleep</i>. These are called collocations. 「英語では、<i>sleep well</i> や <i>fall asleep</i> のように、一緒に使われる単語があります。これをコロケーションと言います」</p> <p>- Now let's check your understanding of collocations here. <i>What time do you usually go ___ sleep?</i> What should be in the blank? 「それでは、この問題の答えを確認してみましょう。 <i>What time do you usually go ___ sleep?</i> あいているところに入る語は何ですか」</p>
	内容の確認 [5分]

<p>まとめ [12分]</p>	<p>内容の理解ができたところで、学んだ単語や表現を用いて、概略について表現させる。 Appendix 2 (p. 22) 参照。[L, R]</p> <p><b>Appendix 2 解答</b></p> <p>1) importance    5) relieve    9) awake    13) hallucinate    17) damaging 2) purpose    6) serious    10) reading    14) speak    18) schedule 3) brains    7) experiment    11) clearly    15) remember    19) significant 4) cells    8) sleeplessness    12) hands    16) count</p> <p>- Look at the worksheet. This is a summary of the story. First, listen to the story again and refresh your memory of it. 「ワークシートを見てください。これは本文の内容をまとめたものです。もう1度CDを聞いて、内容を思い出しましょう」</p> <p>- Work on the summary completion. I think you can answer most of them very easily. 「それではワークシートを完成させてください。簡単にできますね」</p>
<p>ディスカッション [10分]</p>	<p>この記事のテーマである睡眠不足の影響について書いてきた考えをもとに、小グループで討論させる。[L, S]</p> <p>- Make a small group and discuss the negative effects of sleeplessness for 10 minutes. 「少人数のグループに分かれて、10分間ディスカッションをしましょう。テーマは睡眠不足による悪影響です」</p>
<p>意見の発表 [10分]</p>	<p>各グループのレポーターにグループの意見を発表させる。最後の方のグループが発表する考えがなくならないように、1グループにつき意見は2つくらいに絞って発表させる。生徒が考えを発表するごとに、あらかじめ教師が用意してある悪影響を PowerPoint などで表示して、他の生徒にもわかりやすくする。また、生徒の発言が文法的な間違いを含んでいて理解しにくいときは、正しい英語に言い換えて全体に伝える。[L, S]</p> <p>- I would like to learn about your ideas now. Group 1, can you report your ideas? 「ディスカッションで出た意見を聞きたいと思います。グループ1はどんな意見が出ましたか」</p> <p>- G1: If we don't sleep well, we can't positive think, and we feel tired next morning. グループ1:「よく眠らないと、ちゃんと考えられず、翌朝は疲れてしまいます」</p> <p>T: You mean, you can't think positively and will feel tired the next morning. 教師:「きちんと考えられず、翌朝も疲れが残ってしまう、ということですね」</p> <p>- Good. Class, do you agree? 「いいですね。みなさん、同じ意見ですか」</p> <p>- Thank you very much for contributing your ideas to the class. Now we understand sleep is very important for us and if we don't sleep well, it will have a lot of negative effects on us. Do you think you will try to have a good night's sleep from now on? 「いろいろな意見を発表してもらいありがとうございました。これで睡眠をとることがいかに大切か、そして睡眠をとらないとさまざまな悪影響があることがわかりましたね。みなさん、今日からはちゃんと寝るように努力できますね」</p> <p>- Good. See you tomorrow. 「よかった。それではまた明日」</p>

リーディングの授業は慎重に計画を立てましょう。授業に組み込むべきアクティビティのタイプには、リーディング前に行うアクティビティ、リーディング中に行うアクティビティ、リーディング後に行うアクティビティなどがあります。リーディング前のアクティビティは、これから読む文章がどのような内容か想像するのに役立ちます。また、その文章を読むことに対する集中力も増します。リーディング中に行うアクティビティは、内容の理解には欠かせません。最も重要なのはリーディング後のアクティビティで、ここでは自分の意見を文章の形で表現することができます。このとき、ペアワークやグループアクティビティを組み込んでよいでしょう。

吉田 雅子 — 愛知県立中村高等学校

**Appendix 1**

**Survey**

Answer the following questions in the 'You' column of the chart below. Bring this sheet to class. You will fill in the other columns with classmates' information.

1. How many hours do you usually sleep every night?
2. Do you think you sleep well or do you need more sleep?
3. If you don't sleep well, how do you feel the next morning?
4. Suppose you did not sleep for a couple of days, what do you think would happen to you?
5. What do you think are some of the reasons why people can't sleep well?

	You	_____	_____	_____	_____
1.					
2.					
3.					
4.					
5.					

## Appendix 2

### Chapter 1: Are You Getting Enough Sleep?

**Directions:** The following is a summary of the passage presented in Chapter 1. Fill in the blanks with words from the box.

awake	damaging	purpose	serious
brains	experiment	reading	significant
cells	hallucinate	relieve	sleeplessness
clearly	hands	remember	speak
count	importance	schedule	

The article describes the **1** \_\_\_\_\_ of good sleep for humans. Although scientists do not know the **2** \_\_\_\_\_ of sleep for sure, they know that our **3** \_\_\_\_\_ are very active when we sleep. Partly based on this evidence, they believe that we sleep in order to renew brain **4** \_\_\_\_\_ and also that sleep helps the body to grow and **5** \_\_\_\_\_ stress. These thoughts in turn indicate that sleeplessness might have **6** \_\_\_\_\_ negative effects on us.

Some of these effects have been proved by the **7** \_\_\_\_\_ done by Randy Gardner, a high school student in the United States. He designed an experiment on the effects of **8** \_\_\_\_\_ : he did not sleep for as long as possible and asked a professor and two of his friends to monitor and record what was happening to him as time went by. The experiment was dangerous but found interesting results. These were some of the strange behaviors reported during the 264 hours and 12 minutes he stayed **9** \_\_\_\_\_ .

1. One day later, he had trouble **10** \_\_\_\_\_ words and seeing pictures **11** \_\_\_\_\_ .
2. Three days later, he couldn't use his **12** \_\_\_\_\_ as he wanted to.
3. Four days later, he began to **13** \_\_\_\_\_ . For example, when he saw a street sign, he thought it was a person.
4. Seven or eight days later, he could not **14** \_\_\_\_\_ clearly and couldn't **15** \_\_\_\_\_ things.
5. Eleven days later, he couldn't **16** \_\_\_\_\_ numbers well. Also, he couldn't remember what he was doing.

These behaviors might be good enough to show the **17** \_\_\_\_\_ effects of sleeplessness, but what happened after he finally went to bed explained such negative effects more clearly.

1. On the first night, he slept for 14 hours and 45 minutes.
2. On the second night, he slept for 12 hours.
3. On the third night, he slept for ten hours and 30 minutes.
4. By the fourth night, he had returned to his normal sleep **18** \_\_\_\_\_ .

Thus, if we do not sleep, it will have **19** \_\_\_\_\_ effects on our health, our brain and even on our life.

# ■ スピーキングの授業

## ◇ スピーキング指導のポイント

1. 発話の内容は、事前のコミュニケーション活動として、話すのに必要な単語や構文を教え、話す内容を書かせたりして事前に準備させる。このような準備をさせることで、スピーキングの内容が質的にかなり向上すると言われている。
2. またスピーキングを行わせる前に、モデルの会話文を示したり、教師や英語力のある学生が実演してみせる。こうすることで、どのような内容のことを話せばよいのか明確になり、安心して取り組むことができる。
3. 他の技能(リスニング、リーディング、ライティング)の活動を取り入れ、リスニングやリーディングで学んだ単語や表現を利用して発話させる。また、繰り返し学習を促進することで、学習効果を高めるようにする。
4. いろいろなタイプの活動を利用して、状況に合った表現を使えるようにし、表現の機能を学ばせる。
5. コミュニケーション・ストラテジーを効果的に使えるようにするために、いろいろな活動の中にその指導を取り入れる。
6. The four strands of teaching<sup>1</sup> (4つの指導要素)で述べられている、meaning-focused output (易しい英語を用いて自分が興味を持てる事柄に関して話す活動)、fluency development (4/3/2 [p. 36 参照]のように、時間制限を設けて繰り返し自分が気に入った話をするなど、スピーキングの流暢さを高める活動)を取り入れるとともに、正確な発話できるように、language-focused learning (単語や文法、表現そして発音を学習する活動)や meaning-focused output (易しい英語を使った興味深い話を話したり書いたりする活動)などを取り入れる。

## ◇ 授業案

教材	Get Ahead, Level 2 Unit 3 Mother Nature
英語レベル	初中級
授業時間	50分授業 2回
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リスニングやリーディング活動でインプットした情報や言語材料をスピーキング活動を通してアウトプットする。</li> <li>・効果的にスピーキング活動を行えるように、基礎的な文法指導(比較級と最上級)や発音指導を行う。</li> <li>・発話の手助けとなるよう、語彙(地形や動物を表す表現)状況や場面に応じた表現(同意する表現と異論を唱える表現)を指導する。</li> <li>・同じ単語や表現を異なる状況で繰り返し使うことによって定着を図る。</li> </ul>

[各タスクの学習スキルは次のように表示されています。S = スピーキング、L = リスニング、W = ライティング、R = リーディング]

前回の宿題	<p>スピーキング活動の基礎となる Vocabulary: Geographical features (地形を表す表現)の語彙の勉強をしてくるように指示を出す。Hill, valley 以外の単語はすでに知っていると思われるが、正確に発音できるかどうか確認する必要がある。</p> <p>教師が、Grammar: Comparative and superlative adjective の解説をした後、2, 3, 4を自宅で解いてくるように伝える。文法事項は英語理解の基礎となるため、母語である日本語で説明した方が効果的である場合もある。</p>
-------	--

<sup>1</sup> Nation & Newton, 2009



## クラス1 (50分)

<p>あいさつ および口頭導入 [3分]</p>	<p>英語での授業の雰囲気作り、ウォームアップを兼ね、今回の授業のテーマや目的に関することをさりげなく導入する。[L, S]</p> <p>- Hi, everyone. Did you hear the news about the typhoon? Misaki, is the typhoon gone? (Misaki: Yes, it looks that way.) Okay, that's good. No wonder the weather is nice today. 「みなさん、こんにちは。台風のニュースは聞きましたか?ミサキ、もう台風は過ぎましたか? (ミサキ:はい、そのようです)それはよかったです。それでは今日はきっといい天気ですね」</p> <p>- Did the typhoon cause any damage to your area, Shota? (Shota: No, not in my area, but it caused damage in Shikoku.) Oh, were any buildings damaged? (Shota: I heard that some people were injured and some others were missing). 「ショウタ、あなたの家の近くは大丈夫でしたか? (ショウタ:うちの近所は大丈夫でしたが、四国はひどかったようです) えっ、建物が壊れたりしたのですか? (ショウタ:けがをした人や行方不明の人がいるようです)」</p> <p>- Oh, that's terrible, but you can't stop mother nature. What do you think? Do you agree? 「それはひどい。でも自然の力には逆らえないものですね。みんなの意見はどうですか?そう思いますか?」</p>
<p>Vocabulary [10分]</p>	<p>Exercise 1: 重要単語の発音と意味を確認する。[L, R]</p> <p>- Let's check your understanding of some of the important words first. Look at exercise 1 on page 18. 「それではまず、重要単語がどれぐらい理解できているか確認します。18 ページのエクササイズ1 を見てください」</p> <p>Exercise 2: 重要語句が正確に理解できているか確認する。解答を確認する際、スクリプトを見せなくて、教師がスクリプト内容を説明する。教師が解説することで、生徒は教師の言葉に集中できる。[L, R]</p> <p>- You are going to listen to some descriptions about the photos in exercise 1. Match them with the photos. 「この写真を見ながら説明文を聞いて、その説明に合う写真を選んでください」</p> <p>- Did you get the answers? Number 1 says ... so the answer is... 「答えがわかりましたか? 1 番は……と言っているのです、答えは……ですね」</p> <p>Exercise 3 Try It Out: これまでの問題で用いた絵を利用して、スピーキング活動を行い、重要語句の定着を図る。[L, S]</p> <p>- Please find a partner. Choose one of the photos and describe it to your partner. The partner should check if the descriptions are correct and ask questions. Then switch roles. A: In Photo B, there are some hills. B: Right. What else can you see in Photo B? A: A river and a valley. B: Good. Okay, now I'll describe Photo A. There is a lake. It is surrounded by a forest and mountains. 「ペアを組んでください。このページの中から1つ写真を選んで、それがどんな写真をパートナーに説明してください。パートナーはその説明を聞いて合っているかどうか確認して、いくつか質問をしてください。終わったら役割を交替して行います。 A: B の写真には丘があります。 B: そうですね。ほかに何がありますか? A: 川と谷が見えます。 B: そうですね。では今度は私が A の写真について説明します。湖があって、周りは森と山に囲まれています」</p>

Quiz [11分]	リスニング教材を聞いて、クイズに答えさせることで、世界を取り巻く自然に関する知識を深める。[L, R]
	- Listen and read the quiz. Then answer the questions. 「音声を聞きながら問題を読んで、質問に答えましょう」
	Exercise 4 の Listen and check all your answers で CD を聞かせて解答をペアで確認してもよいが、教師が生徒と英語で話しながら解答確認をするのも効果的である。[L, S, R]
	- Check the answers to the questions with your partner. A: Let's check the answers now. The answer to question 1 is b. What do you think? B: Yes, I agree. 「パートナーと答え合わせをしましょう。 A: じゃあ、答え合わせをしよう。1 番の答えは b だよ。どう思う? B: わたしもそう思う。」
	- Okay, now, let's check the answers together. 1. Which mountain is higher? Does anyone have the answer? 「それでは、みんなで一緒に答え合わせをしましょう。1 番 Which mountain is higher?(どちらの山が高いですか?) 答えがわかる人?」
	Exercise 2, 3, 4 を行う。Exercise 1 のようなクイズ問題を作り、ペアを作って質問することで、自然に関する理解と知識を深める。提示されている川や場所、気温などを利用して問題を作る。[L, S, R, W]
- Make some more quiz questions. Complete the answers using the words from the box. 「今度はクイズの問題を作ります。まずはここに書いてある問題の答えをボックスの中から選びます」	
- After your questions and answer choices are complete, ask your quiz questions to your partner. 「自分の問題と答えができたなら、パートナーに問題を出してください」	
Grammar [12分]	Exercise 1: 文法の説明が理解できているか日本語で確認する。[L, S]
	- Do you understand the basic differences between comparative and superlative sentences? Can anyone explain them to me in Japanese? 「比較級と最上級のちがいはわかりますか?日本語で説明してくれる人いますか?」
	Exercise 2, 3, 4 の解答を確認する。その際に、ペアで確認させてから、CD を聞いて確認させる。[L, S]
	- Check your answers with your partner. Then listen to the CD. If you don't understand the answers or do not agree with them, please let me know. 「パートナーと答え合わせをしてください。それから CD を聞きます。答えがよくわからなかったり、納得できない場合は言ってください」
	Exercise 5 Try It Out: ペアで exercise 4 の質問をし合う。相手の答えに同意するときは、Good. Exactly. That's right. などと言い、答えを確認する。同意できないときは、I don't think so. I don't agree. などと言い、答えを伝えてから説明を加える。このような指導が、これから行う 21 ページの Conversation practice: Agreeing and disagreeing の導入となる。[L, S]
	- Find a partner and ask each other the questions you made in exercise 4. If your partner says the correct answer, respond by saying, Good, Exactly, or That's right. If you don't think the answer is correct, respond by saying, I don't think so or I don't agree, and tell them the answer with an explanation if you can. 「ペアに分かれて、エクササイズ 4 で作った問題を出し合いましょう。パートナーの答えが合っていたら、Good. とか Exactly. とか That's right. のように言いましょう。まちがっていたら、I don't think so. や I don't agree. と行って自分の考える正解とできればその説明をしてください。」

<b>Conversation practice</b> [14分]	<p>Exercise 1: 会話一文を目で追いながら、CD を聞かせ、誰がイヌ好きで、誰がネコ好きか、その理由は何か考えさせる。そのあともう一度 CD を流し、ペアで読みの練習をする。その際に適切な感情が入るように努力させる。[L, S, R]</p>
	<p>- Listen and read the conversation. Find out who prefers dogs and who prefers cats. What are the reasons they give? 「21 ページの文を読みながら音声を聞きましょう。誰がネコが好きで、誰がイヌが好きなのか聞きとってください。またその理由は何でしょうか」</p> <p>- Can you tell me who prefers dogs? What is the reason he or she gives? 「イヌが好きなのは誰ですか?その理由は何ですか」</p> <p>- Now practice the conversation with a partner. Be sure to add the appropriate emotions when you speak. 「この会話をペアで練習してください。話すときには感情を込めるのを忘れずに」</p>
	<p>Exercise 2: CD を聞いて正しい情報を答えさせる。[L, S, W]</p>
	<p>- Listen to Jun, Sara and Bob talk about their pets. Complete the sentences with animals in the box. 「ジュンとサラとボブがペットについて話しています。これを聞いて、空欄に正しい動物の名前を書いてください」</p> <p>- I would like you to read each sentence with the blanks filled in. Any volunteers? 「それでは、1 文ずつ空欄に単語を入れて読んでもらいます。希望者はいますか?」</p>
	<p>Exercise 3: 比較級、最上級などを用いた意見、異論を表す表現、与えられた形容詞を使って、ペアで見本のように会話をする。[L, S]</p> <p>- Use the conversation phrases and adjectives in the box and try to talk to your partner about the animals in the pictures. 「ボックスの中にある表現や単語を使って、写真の動物についてパートナーと話してみてください」</p>

スピーキングの授業で大事なものは、新しく学習した文型や語彙は積極的に使わせるということです。ダイアログ、インフォメーション・ギャップ、Q&A といったアクティビティを用いるとよいでしょう。

Tim Fox — 鹿児島第一高等学校

## クラス 2 (50 分)

<b>Vocabulary</b> [22 分]	<p>Exercise 1: 写真を用いて動物の名前を学習する。ほとんどの単語はすでに知っていると思われるため、スムーズに進められるはずである。ただし、発音が日本語のようになってしまう可能性があるため、まちがった発音をした場合は訂正し、繰り返し練習する。[L, S]</p>
	<p>- Look at the pictures. Listen and repeat. Be careful of the pronunciation of <i>crocodile</i>, <i>penguin</i>, and <i>whale</i>. 「22ページの動物を見て、音声のあとについて言ってください。とくに、crocodile、penguin、whale の発音に気をつけてください」</p>
	<p>Exercise 2: 動物に関する意見の交換を行う際に用いる表現の発音練習をする。特に日本人学生の弱点である /ə/ (曖昧母音) の音について練習する。[L, S]</p>
	<p>- Listen and repeat. Underline the /ə/ sound in these sentences. 「エクササイズ 2 の音声聞いて、あとについて言ってください。それぞれの文の中で /ə/ の音に下線をつけましょう」</p> <p>- Did you get them all right? 「全部わかりましたか?」</p>
	<p>その後、文のイントネーションについても解説し、どのようなときに /ə/ の音が起きるのか(強勢がおかれないときに起こる)を日本語で解説する。ある程度の法則性を理解すれば、自分の発音を確認したり、正確に発話することができるようになる。</p>
	<p>Exercise 3: 説明に合うように、空欄に動物名を入れさせる。次に行うリスニング活動の準備とする。[L, S, R, W]</p>
	<p>- Complete the descriptions with an animal from Exercise 1. After you are finished, check your answers with your partner. 「エクササイズ 1 に出てきた動物の説明文の空欄に、正しい動物の名前を入れてください。終わったら、パートナーと答え合わせをします」</p>
	<p>Exercise 4: CD の説明文を聞いて、動物の名前を書かせる。動物の名前と英語表現の定着を目指して、リスニング活動を行う。[L, W]</p>
	<p>- Listen to the descriptions and write the name of the animal. 「ある動物についての説明文を聞いて、それが何の動物か書きます」</p>
	<p>Exercises 5 and 6 Try It Out: Exercise 3 や 4 のリスニングで使われていた表現を利用して動物クイズを作り、パートナーと問題を出し合う。[L, S, R, W]</p> <p>- Write a description of an animal using <i>This animal is... / It can... / It lives... / It likes...</i> Then read your description to your partner. Your partner guesses the animal. You can respond, <i>Yes, that's right.</i> to the correct answer, and <i>Sorry. You are not correct.</i> to a wrong answer. 「This animal is...、It can...、It lives...、It likes... などの表現を使って、動物クイズを作り、パートナーと問題を出し合います。答えが合っていたときには、<i>Yes, that's right.</i> と言い、間違っていたら <i>Sorry. You are not correct.</i> と言います」</p>

最も効果的なのは、話す機会をたくさん設けることと、それをルーティン化することです。理想的には毎回、最低でも 1 週間に 1 度は、10 分間のペアワークやグループワークの時間を設けたいところです。一旦ルーティンとして確立すれば、生徒も戸惑うことなく行えます。新しいパートナーが必要なときは手を挙げることにしておくと、新たなペアを作るのにもそれほど時間はかかりません。

Colette Morin — 洛星中学・高等学校

<b>Reading</b> [28分]	<p>Exercise 1: 音声を聞きながら Arctic Park のパンフレットを読ませ、どのような点について述べられているか、headings (見出し) に注目させる。Headings は、すばやく情報のポイントを読み取り、情報を整理するのに大いに役立つことを説明する。[L, S]</p>
	<p>- The brochure below describes a national park. Before reading, just look at the article and answer my questions. Ready?          「下のパンフレットは、ある国立公園について書いてあります。読む前に、まず記事を見ながら私の質問に答えてください。いいですか?」</p> <p>- Question 1: What national park is described? Naomi? (Naomi: Arctic Park).          「1 番: What national park is described? (ここに書いてあるのはなんという公園ですか?) ナオミ?(ナオミ: Arctic Park [アークティック国立公園です])」</p> <p>- Good, then, question 2: What kind of information is described about the national park? I'll give you a hint. You can find the information very easily. Saki? (Saki: geography, weather, arctic animals, and arctic birds).          「そうですね。それでは2番です。What kind of information is described about the national park? (この公園について、ここにはどんなことが書いてありますか?) ヒントは、見てすぐわかる情報です。サキ?(サキ: geography, weather, arctic animals, and arctic birds [地理、気候、北極の動物、北極の鳥類です])」</p> <p>- Yes, very good. If you look at the headings, you can get the information right away. Now listen and read the brochure. Find the animals on the left in the text.          「そうですね。とてもよくできました。Headings (見出し) を見れば、すぐに情報得ることができますね。それでは音声を聞きながら、パンフレットを読んでみましょう。左側の動物がどこに出てくるか探してください」</p>
	<p>Exercise 2: もう一度パンフレットを読ませ、1~5 の情報が正しいかどうか考えさせる。[L, S, R, W]</p>
	<p>- Read the brochure again. Circle T or F. Correct the false information.          「もう 1 度パンフレットを読んで、エクササイズ 2 の文が正しい場合は T を、まちがっている場合には F を○で囲みましょう。そして間違っている文は正しく書き直してください」</p> <p>- After you're done, check your answers with a partner.          「終わったら、パートナーと答え合わせをしてください」</p>
	<p>Exercise 3: Kakadu National Park についての話を聞いて、そこでどのような動物が見られるか考えさせる。[L, S]</p>
	<p>- Listen to Kevin talking about Kakadu National Park in Australia and find out what animals you can see there.          「オーストラリアにあるカカドゥ国立公園についてケビンが話しています。よく聞いて、そこでどんな動物が見られるか聞きとってください」</p> <p>- So tell me, what animals can you see there?          「それでは、そこではどんな動物がいるのか教えてください」</p>
	<p>Exercise 4 Try It Out: これまでの学習の集大成として、自分の好きな、あるいはよく知っている national park (国立公園) について、exercise 1 で読んだパンフレットを元に簡潔にまとめさせる。ペアで行ってもよいが、それぞれの好みなどを考慮して、まずは個人で取り組ませる。できれば写真などを貼り付けておくとわかりやすく、生徒にとってより価値のある活動になる。[L, W]</p>
	<p>- Write about a national park in your part of the world based on the brochure you read in exercise 1. Please include the following information: where it is (geography), what the weather is like, and what you can see there (animals, birds, and plants).          「エクササイズ 1 のパンフレットを見本にして、自分の国にある国立公園について説明する文を書きましょう。内容として、それがどこにあるか(地理)、どんな気候か、何が見られるのか(動物、鳥、植物など)についての情報を入れてください」</p> <p>- You won't finish the assignment in class, so please finish it for homework and bring it tomorrow. Okay? Any questions?          「授業内に書き終えるのは難しいでしょうから、宿題として明日までに書いてきてください。いいですか? 質問はありますか?」</p>

# ■ ライティングの授業

## ◇ ライティング指導のポイント

1. 日頃から、自分の考えや意見を述べるのに役立つ表現や英文をシャドウイングやディクテーションなどの language-focused learning (言語に重点を置いた学習活動)を通して定着させる。
2. モデルとなる英語のパラグラフやエッセイを提示し、それらの構成について説明し、主題文と支持文や序論、本論、結論の役割と書き方について理解させる。
3. 英語の文章を書かせる前に、ブレインストーミングの活動を取り入れ、どのような事柄をどのような順番で使って、どのように文章を展開するか、全体の構成について考えさせる。書かせた後に、友人や教師からコメントをもらい、それに基づき、修正と編集を行うように指導する。
4. 他の技能(リスニング、リーディング、スピーキング)の活動を取り入れ、リスニングやリーディングで学んだ単語や表現を利用して書かせたり、書いたものを利用して発話させたりする。また、繰り返し学習を促進することで、語彙や表現の学習効果を高めるようにする。
5. いろいろなタイプの活動やジャンルの文章を利用して、状況に合った表現を使えるようにし、表現の機能を学ばせる。
6. The four strands of teaching<sup>1</sup> (4つの指導要素)で述べられている、meaning-focused output (易しい英語を用いて興味を持つ事柄に関して書く活動)、fluency development (timed writing のように、時間制限を設けて自分の意見を書くなど、ライティングの流暢さを高める活動)を取り入れるとともに、正確な英文を産み出すために、language-focused learning (単語や文法、表現を学習するディクテーションなどの活動)や meaning-focused output 活動 (易しい英語を用いて興味あることについて書く活動)を取り入れる。

## ◇ 授業例

教材	Q: Skills for Success Reading and Writing, Intro Unit 8: How can you change an unhealthy habit?
英語レベル	初中級
授業時間	50分授業 2回
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見を述べる際に、その意見を裏付けするための具体例や理由を加え、論理に基づいた主張を展開する。</li> <li>・適切なディスコースマーカー(接続詞など)を用いて、考えを効果的に結びつける。</li> <li>・計画を立て、それに基づいてパラグラフを書き、文法やスペリングそして内容面を適宜修正する。</li> </ul>

[各タスクの学習スキルは次のように表示されています。S = スピーキング、L = リスニング、W = ライティング、R = リーディング]

前回の宿題	Preview the Unit の activity A と B および Reading 1: When Does a Change Become a Habit?のタスクを pre-reading の活動として完了させてくるよう指示を出す。ここで reading 活動の支えとなる背景知識を活性化するとともに、単語の学習を行う。[R, W]
	- Complete the tasks Preview the Unit A and B, and Vocabulary for Reading 1. 「Preview the Unit の A と B、Reading 1 の Vocabulary をやってきてください」

## クラス 1 (50 分)

<p>あいさつと 口頭導入 [7分]</p>	<p>英語での授業の雰囲気作り、ウォームアップを兼ね、今回の授業のテーマに関することをさりげなく導入する。[L, S]</p> <p>- Hi, everyone. How are you today? 「こんにちは。みなさん、元気ですか」</p> <p>- Good. Did you have a good night's sleep? How about you? You look a little tired. Are you okay? You didn't eat breakfast? Why not? Were you not hungry in the morning? I don't think it's a good idea to skip breakfast! It's not healthy. 「いいですね。今日はちゃんと寝てきましたか。あなたは怎么样了? ちょっとくたびれているみたいだけど。大丈夫ですか? どうして朝ごはんを食べなかったのですか? どうしてですか? 食欲がない? 朝食を抜くのは良くないですね! 健康によくないですよ」</p> <p>- Are there other people who didn't eat breakfast? Okay, but I'm surprised that there are so many people who didn't eat breakfast! Don't you feel tired in the morning? You can't concentrate so well during class, can you? 「朝ごはんを食べて来なかった人、ほかにもいますか? なるほど、こんなにたくさんいたとは驚きました! 午前中疲れませんか? 授業に集中できますか?」</p> <p>- Today's topic is how to change an unhealthy habit, so I think you can learn a lot from today's topic... 「今日のトピックは、どうすれば不健康な習慣をやめられるかという内容です。このトピックはみなさんのためになりそうですね……」</p>
<p>Preview the Unit A, B Reading 1 Vocabulary [8分]</p>	<p>あいさつと oral introduction からの自然な流れで Reading 1 のリーディング活動に導く。[L, S, R]</p> <p>- Okay, find a partner and work on activities A and B together. 「それでは、パートナーを見つけて、activities の A と B をやってください」</p> <p>- Check your answers to Reading 1 Vocabulary. If you have questions, let me know. 「Reading 1 の Vocabulary のところの答え合わせをしてください。質問があれば教えてください」</p>
<p>Preview Reading 1 [3分]</p>	<p>まずは効果的なリーディング・ストラテジーであるスキミングを行わせる。最初の質問文を読み、その答えだけを探す形でできるだけ早く読ませる。見つかったら手を挙げる方式を取ると、スキミングを効果的に行わせることができる。[R, W]</p> <p>- First, read the two questions below and try to find the answers as quickly as possible. When you have found them, write them down and raise your hand. 「まず、次の 2 つの質問文を読んで、本文の中からできるだけ早くその答えを探してください。わかった人は空欄に答えを書き込んでから、手を挙げてください」</p>
<p>記事を読む [5分]</p>	<p>CD を聞かせながら、記事を読ませる。[L, R]</p> <p>- Read the article to get the main ideas. 「この記事を読んで、要点をつかみましょう」</p>
<p>Comprehension Check A [5分]</p>	<p>それぞれの文を読ませ、できるだけ早く答えさせる。そのあと、生徒に発表させる形で答え合わせをする。[L, S, R, W]</p> <p>- Read the statement and check if each statement is true or false. If you find false statements, correct them to make them true. 「それぞれの文を読んで、正しいものには T、間違っているものには F と書いてください。間違っているものについては、どこが間違っているか訂正しましょう」</p> <p>- Okay, I think you are finished. Can you tell me the answer to statement 1, Yuko? 「さあ、みなさんできましたね。ユウコ、1 番の答えを教えてください」</p> <p>- Good! You're right. Now, statement 2. How about Kaori? 「そうですね! 正解です。次は 2 番です。カオリ、怎么样了?」</p>

Writing 指導のコツは、たくさん話させること。生徒は普通、話したことの何割かしか書けません。その書ける量を増やしたければ、話す量を徹底的に増やすことです。「言いたいこと」が多ければ多いほど、書けることも増えるはずですよ。

杉本 薫 — 都立両国高等学校附属中学校

<b>Comprehension Check B</b> [2分]	それぞれの説明が、記事に述べてあるどのステージに当てはまるか、左ページの図を見ながら考えさせ、隣同士で確認させる。[R, W]
	- Read the sentences below and find out which stage of change each person is at. 「それぞれの説明文を読んで、それぞれの人がどのステージにあてはまるか、左ページの図を見ながら考えましょう」 - The first one is done for you. James drinks several sodas every day. He doesn't believe soda is unhealthy. This shows Stage 1: Ignoring. Do you understand the task? Let me know if you have any questions. 「1番は例としてすでに答えが書いてあります。James drinks several sodas every day. He doesn't believe soda is unhealthy. (ジェームスは毎日ソーダをよく飲みます。彼はソーダが体に悪いとは思っていません。)これは、ステージ1の Ignoring です。やり方はわかりましたか?質問はありますか?」
<b>Reading 2 Vocabulary</b> [3分]	生徒が自分で問題を解き、教師は答えを伝える。[R, W]
	- Read the sentences below and choose the definition that best defines the boldfaced words and expressions. 「それぞれの文を読んで、太字の語句の意味として正しいものを選んでください」 - Let's check the answers together. 「それでは皆で答え合わせです」
<b>Preview Reading 2</b> [2分]	先ほどと同じように求められた情報だけを理解するためのスキミングに導く。[R]
	- In this newspaper article, a doctor answers questions from readers. Scan the reading for names and complete the sentences below. 「次の新聞記事では、ある医師が読者からの質問に答えています。本文をすばやく読んで、空欄に正しい人物名を書き入れましょう」
<b>Comprehension Check A, B</b> [15分]	CD を聞かせながら要旨の理解のために記事を読ませる。その後、Comprehension Check A, B の質問に答えさせる。その後隣同士で解答を確認させる。[L, S, R, W]
	- Read the article and try to understand the main points while listening to the CD. Then answer the questions in Comprehension Check A and B. After you have finished, check your answers with your neighbor. 「CD を聞きながら記事を読みましょう。このとき、本文の内容で特に大切なポイントを理解するようにします。そのあと、Comprehension Check A と B の問題をやってみましょう。終わったら隣の人と答え合わせをしてください」
<b>宿題</b>	テキスト p.118 の Skill Review: Identifying pronoun references 及び Q: What do you think?、そして p.122 の Building Vocabulary: Collocations と p.123 の A を課題として取り組ませる。また、p.124 の Grammar: Modals の説明を読み、A~D のタスク (p.124~125) も自分で取り組むように指示を出す。解説と解答の確認は次回の授業で行う。

<b>クラス 2 (50 分)</b>	
<b>宿題の確認</b> [3分]	宿題について質問を受け、解答の確認を行う。[L, S, R]
	- Hi, everyone. Did you do the assignment? Good. Do you have any questions? Let's review the answers. Any volunteers? 「こんにちは。宿題はやってきましたか?いいですね。質問はありますか?答え合わせをしてみましょう。だれか答えを言ってくれる人はいますか?」
<b>小グループでのディスカッション</b> [6分]	小グループを組むように指示し、p. 122 の What Do You Think? A の 3 つの質問についてグループで話し合うように指示を出す。[L, S]
	- Now, make small groups and talk about the three questions in Section A. I'll give you five minutes. 「それでは、少人数グループに分かれて、What Do You Think? A の問題について話し合います。時間は5分です」



<p><b>意見の発表</b> [10分]</p>	<p>各グループの代表に考えをホワイトボードに書かせる。[L, S, R, W]</p> <p>- Let's have a group leader write your unhealthy habits, the reasons why it is important to change them, and your goals and plans. 「各グループの代表の人は、まずメンバーが行っている体に悪い生活習慣について書き、なぜそれを変えなければならないのか、今後の目標や計画をホワイトボードに書いてください」</p> <p>- Group 1, write here on the board. Group 2, you can use this space... 「グループ1はここに書いてください。グループ2はここを使って……」</p> <p>- Wow, you have a lot of unhealthy habits: eating fast food when you are busy, eating sweets before going to bed, and lack of exercise... 「わあ、不健康な生活習慣がずいぶんたくさん出ましたね。忙しいときはファストフードで済ます、寝る前に甘いものを食べる、運動不足……」</p> <p>- And let's review the reasons as well why you think it's important to change these habits. You want to live long, you want to work effectively, you want to have a happy life... 「それでは、なぜそのような習慣を変えなければいけないのかについても見てみましょう。長生きしたいから、効率的に勉強したいから、幸せな人生を過ごしたいから……」</p>
<p><b>Grammar</b> [3分]</p>	<p>必要に応じて Grammar: Modals をさらに詳しく説明したハンドアウトを作成する。p.124 ~125 の exercises A, B, C, D に取り組ませ、終わったら模範解答を配布する。生徒は各自答え合わせをする。質問を受ける。[L, R, W]</p> <p>- (If necessary) I will give you a handout that explains the use of modals in greater detail. 「(必要であれば) modals (助動詞) の使い方を詳しく説明したハンドアウトを配ります」</p> <p>- Once you finish exercises A, B, C, and D, let me know, and I will distribute the answer keys for the exercises. Please check your answers on your own and if you have questions, raise your hand. 「エクササイズ A、B、C、D がすべて終わった人は教えてください。模範解答を渡します。各自答え合わせをしてください。質問がある人は手を挙げてください」</p>
<p><b>Writing Skill: Supporting your ideas</b> [8分]</p>	<p>パラグラフにおける主題文の役割と支持文の役割について説明し、支持文としては、理由付けや具体例を効果的に利用するのが重要であることを説明する。[L]</p> <p>- In a paragraph, the topic sentence introduces the topic or the main point. Supporting sentences give information, examples or reasons, about the topic sentence. 「ひとつのパラグラフの中には、主題文と支持文があります。主題文は、そのトピックの内容や要点を述べています。支持文は、そのトピックについての情報、つまり理由付けや具体例を表します」</p>
<p><b>アクティビティ A</b> [4分]</p>	<p>支持文の理解を深めるために、2つのパラグラフを読んで、関係のない支持文を削除する練習を行う。[L, S, R]</p> <p>- Read each paragraph. Delete the supporting sentence that is not about the paragraph topic. 「この2つのパラグラフを読んで、パラグラフのトピックと関係のない支持文を消してみましょう」</p> <p>- Now, please tell me which sentence should be deleted... 「さあ、関係ないのはどの文でしょうか……」</p>
<p><b>アクティビティ B</b> [8分]</p>	<p>主題文を裏付ける効果的な支持文を書く練習をする。[L, S, R, W]</p> <p>- Write a good example to support each topic sentence using <i>For example</i> or <i>For instance</i>, like the example in number 1. 「主題文を裏付けるための効果的な支持文を書く練習をします。1番の例のように、<i>For example</i> や <i>For instance</i> を使って書いてみましょう」</p> <p>- What did you write for number 2, Tomoyo? 「トモヨ、2番はどのように書きましたか」</p> <p>- Perfect! The sentence effectively supports the topic sentence, doesn't it? Does everyone agree with me? Let's go on to question 3 then... 「素晴らしいですね! 主題文を効果的に支持していますね。みなさんはどう思いますか? それでは3番です……」</p>

<p>アクティビティ C [8分]</p>	<p>主題文を裏付ける効果的な理由を書く練習をする。[L, S, R, W]</p> <p>- Give reasons for each statement using <i>because</i>. Look at number 1 as a model. 「次に、主題文を裏付ける効果的な理由を書く練習をしましょう。1 番の例のように、<i>because</i> を使って書いてみましょう」</p> <p>- What did you write for number 2, Megumi? 「メグミ、2 番は何と書きましたか」</p> <p>- Good. The reason supports the main idea very well. Any other ideas? Shintaro, tell me your idea... 「いいですね。主題文をうまく支持していますね。ほかにも意見はありますか? シンタロウ、あなたの考えを聞かせてください」</p>
<p>宿題</p>	<p>これまで学んだことを利用して、自分の生活習慣で悪いものをひとつだけ選ばせ、それをどのようにして変えたらよいかパラグラフを 1 つ書かせる。その際に、どのような習慣について書くか、そして主題文をどのように書き、どのような具体例と理由を用いるか、そして最後の結論をどのように書くか構想を練るよう指導する。パラグラフを書き上げたら、パートナーに読んでもらいコメントをもらって修正する。また、最後に文法的な間違いやスペリングの間違いがないか確認し、次の授業で教師に提出する。[L, S, R, W]</p> <p>- Based on what you have learned, write a paragraph about how to change a bad habit. You can choose one of the bad habits you discussed in the small group discussion. You should choose a habit that you really want to change. That way, you can come up strong reasons to support the main idea. 「ここまで学習したことを基にして、不健康な生活習慣を変えるためにどうしたらよいかというテーマでパラグラフを 1 つ書いてみましょう。グループディスカッションで悪い習慣の中から選んでも構いません。本気で変えたいと思う習慣を選ぶことが大切です。そうすれば、主題文を支持する効果的な理由を見つけることができます」</p> <p>- Once you have decided on the bad habit, think about how you will write the topic sentence and supporting sentences. For the supporting sentences, be sure to include at least one good example and one good reason. Then, add a concluding sentence at the end to remind and convince your readers of the main point you are making. Do you understand what you will do? 「1 つテーマを決めたら、主題文と支持文をどう書くか考えてください。支持文には、少なくとも具体例を 1 つと、理由を 1 つ選びます。そして、最後にまとめの文を書きます。まとめの文は、読んでいる人に話の要旨を思い出してもらおうとともに彼らを説得する、確認してもらうためのものです。書き方はわかりましたか?」</p> <p>- After this, you will need to find a partner. Ask your partner to read the paragraph and ask him or her to give you some suggestions to improve your writing. 「それが終わったらパートナーを見つけてください。そして、お互いに書いた文章を読み合っ、どこを直せばよいか助言しましょう」</p> <p>- When you work together, please focus on how the topic sentence and the concluding sentence are written, and whether good examples and reasons are used. 「文章を読むときには、主題文とまとめの文がちゃんと書けているか、具体例と理由付けが効果的かどうか注意して読みます」</p> <p>- You will need to revise your paragraph according to your partner's suggestions. 「そしてパートナーの助言を受けて、自分の文章を修正します」</p> <p>- Finally, proofread the paragraph on your own to check spelling and grammar. Then hand the completed paragraph to me in the next class. 「最後に、スペリングや文法の間違いがないかよく見直しをします。確認が終わったら次のクラスまでに仕上げを持ってきてください」</p> <p>- It may take time, but it will be a good exercise and fun. Good luck! 「少し時間がかかるかもしれませんが、とてもよい練習になりますし、楽しいですよ。がんばって!」</p>

あらかじめ文章の書き方を指導しておく、生徒が自分の考えをうまくまとめたり、書き表したりすることができるでしょう。

Sean M. Gregory — 大阪府立佐野高等学校

# 辞書を使う授業

## ◇ 単語学習ストラテジー

単語を効果的に覚えるためには、以下のようないくつかのコツ、つまりストラテジーがある。

1. まず、母語つまり日本語で意味を覚えてしまう。(Learning by Japanese definitions)
2. 単語帳などを用いて、定期的に単語の意味を確認し覚える。(Spaced retrieval)
3. リーディングやリスニング活動を行うことで、何度も単語の意味を確認しながら覚える。(Encouraging multiple encounters with the target vocabulary)
4. スピーキングやライティング活動を通じて、同じ単語をいろいろな状況や文脈で用いてみる。(Generative use)
5. Oral fluency (話し言葉における流暢さ)を高める活動を取り入れ、単語の定着を目指す。(Oral fluency development)
6. 単語テストなどにより自分の単語力をときどき確認する。(Vocabulary quizzes)

## ◇ 授業案

教材	<i>Oxford Picture Dictionary, Second Edition, English-Japanese Edition</i>
補助教材	<i>Basic Tactics for Listening, Third Edition</i> <i>Oxford Essential Dictionary, Second Edition</i>
英語レベル	中級
授業時間	50 分授業 2 回
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本語の意味と絵を頼りに、日常生活の中で用いる単語や表現の意味を理解し、覚える。</li> <li>・ 日本語の意味と絵を頼りに、日常生活の中で用いる単語や表現を実際のコミュニケーションで効果的に使用できるようにする。</li> </ul>

[各タスクの学習スキルは次のように表示されています。S = スピーキング、L = リスニング、W = ライティング、R = リーディング]

前回の宿題	1. Vocabulary study: The Park and Playground (p. 224) で扱われている単語や表現を自分で覚えてきてもらう。[R]
	- Open your textbooks to page 224. Learn all the words and expressions by using vocabulary flashcards. We are going to use these words and expressions in the next class. 「テキストの 224 ページを開けてください。単語帳を使って、このページにある単語や表現をすべて覚えてきてください。次のクラスで使います」
	2. Brainstorming for short writing for storytelling: 授業中に行う 10-minute writing と 4/3/2 repeated storytelling の準備として、子供の時に公園や遊び場で遊んだ懐かしい体験についてエピソードとともに考えてきてもらう。[W]
	- Think about a memorable experience from your childhood when you were playing in a park or playground. 「子どもの頃、公園などで遊んだときの懐かしいエピソードを思い出してきてください」 - What did you play with? The seesaw? Slide? Swings? Who did you play with? Your close friends? Your parents? Your brothers and sisters? 「公園では何で遊びましたか?シーソーですか?すべり台?ブランコ?誰と遊びましたか?仲のよい友達ですか?お父さんやお母さん?それとも兄弟かな?」 - Think about an anecdote you can share with your classmates. You don't have to write a story, but bring some ideas to class to use in your short writing activity. 「クラスで発表できるようなエピソードを 1 つ考えてきてください。文章を書いてくる必要はありませんが、アイデアをいくつか用意してきてください。次のクラスのライティング活動で使います」

クラス 1 (50 分)	
<p>あいさつ [2分]</p>	<p>授業の雰囲気作りとウォームアップを兼ね、活動で用いる単語や表現の大切さについて触れると同時に、いくつか生徒に発表させる。[L, S]</p> <p>- Hi, everyone. Did you study the words on page 224? Good for you. They are very important because you are going to use them in an activity today. 「みなさん、こんにちは。224 ページの単語を覚えてきましたか?よくがんばりました。今日はそれを使って活動をするので、とても大切ですよ」</p> <p>- What words do you remember? Any volunteers? Seesaw? Yes. Anything else? Swings, Sandbox? Good... 「どんな単語を覚えていますか?わかる人? Seesaw? そうですね。ほかには? Swings? Sandbox? いいですね…」</p>
<p>発音練習 [2分]</p>	<p>これから行う活動で使用する単語や表現を正確に発音できるように練習する。[L, S]</p> <p>- Pronunciation is important for effective communication, so let's practice pronouncing the words and phrases. Let's listen to the CD and repeat. 「うまくコミュニケーションをとるためには発音が大切になってきます。それではこのページの単語と表現の発音練習をしましょう。CD のあとについてくり返してください」</p>
<p>Vocabulary quiz [8分]</p>	<p>これから行う活動で使用する単語や表現を確実に使用できるように 10 問テストを行い、理解や定着を確認する。テスト後、隣同士で採点をさせる。[L, S, W]</p> <p>- It's time for a vocabulary quiz, so please clear your desks. Just take out your pencil and eraser. I will hand out a sheet of paper to each of you. When you get it, be sure to write your student number and name. 「それでは単語のテストをします。机の上を片付けて、鉛筆と消しゴムだけ出してください。これからテスト用紙を配ります。受け取ったら、まず出席番号と名前を書いてください」</p> <p>- I will say a word or phrase in Japanese, so please write the word or phrase in English. Number 1, “三輪車”. Number 2, ... Okay, that's it. Exchange your quiz sheets with your neighbor. 「私が単語を日本語で言いますから、それを英語で書いてください。1 番“三輪車”、2 番……以上です。それでは、隣の人とテスト用紙を交換してください」</p> <p>- Number 1, the answer is <i>tricycle</i>... 「1 番の答えは、<i>tricycle</i> ですね……」</p>
<p>Information gap activity [14分]</p>	<p>事前準備: <i>Oxford Picture Dictionary</i> の 224 ページにあるような公園と遊び場の絵を 2 枚用意する。ただし、この2枚の絵のうち、<i>swings, seesaws, benches, birds, picnic table, people</i> などの数だけ変えてそれ以外は同じにし、異なる箇所が 6 つあるようにする。このようにして A と B の絵を用意する。やや難しくしたい場合は、<i>water fountain</i> の水が出ているものと出していないものにし、鳥の体の色を黒と白に塗り分けたりしてもよい。</p> <p>活動: ペアを作り、それぞれに A または B の絵を渡し、話し合って 6 つのちがいをを見つけるように指示する。その際に、意見の交換で使う表現も教えておくとよい。6 つのちがいを見つけたら、手をあげて教師に示すように伝えておく。最初に終わったペアが優勝チームとなる。[L, S]</p> <p>- Find a partner. I will hand out either picture A or picture B to all of you. 「まずペアを作りましょう。それから、1 人 1 人に A または B の絵を配ります」</p> <p>- Those of you who have picture A, raise your hand. picture B, raise your hand. Okay, good. 「A の絵を持っている人、手をあげてください。それでは B の絵を持っている人、手をあげて。はい、わかりました」</p> <p>- Each pair should have pictures A and B. Don't show your picture to your partner. Ask each other questions to find six differences between picture A and B. For example, you can say, <i>There are three children playing on the climbing apparatus in my picture. How many children are playing on it in your picture?</i> Or you can also say, <i>I can see two water fountains in my picture. How many water fountains can you see in your picture?</i> 「各ペアに A と B の絵がありますね。自分の持っている絵はパートナーに見せなくてください。そして、お互いに質問しながら A と B の絵のちがいを 6 つ見つけてもらいます。例えば、<i>There are three children playing on the climbing apparatus in my picture. How many children are playing on it in your picture?</i> (私の絵では子どもが 3 人ジャングルジムで遊んでいます。あなたの絵では何人ですか?)とか、<i>I can see two water fountains in my picture. How many water fountains can you see in your picture?</i> (私の絵では噴水が 2 つあります。あなたの絵ではいくつありますか?)のように質問することができます」</p> <p>- Do you understand? The pair that finds the six differences first is the winner. When you have found them, raise your hand. Okay, start! 「方法はわかりましたか? 6 つのちがいを 1 番速く見つけられたペアが優勝です。全部見つけられたペアは手をあげてください。いいですか?では、スタート!」</p>

<b>Information gap activity</b> [14分]	<p>基本的にはすべてのペアが終わるまで待ちたいところだが、あまり時間をかけすぎると先に終わったペアが雑談を始めるので、実際活動をさせている時間は 10 分程度にするとよい。そのあと、優勝チームに答えを発表してもらう。[L, S]</p> <p>- Yoshiko and Satomi, can you tell the six differences to the class? 「ヨシコとサトミ、答えを発表してくれますか?」</p>
<b>10-minute writing</b> [12分]	<p>子供の頃、公園や遊び場(学校の遊び場を含む)で遊んだ体験は懐かしい思い出として残っていることが多い。その懐かしい思い出を、読者が読んで興味深く思えるようにエピソードを交えながら書かせてみる。[L, W]</p> <p>- Let's do a writing activity. I'll give you a worksheet first. In this activity, write about a memorable experience from your childhood when you played in a park or a playground. Be sure to include the essential elements of the story. Where was the park or playground? When did you play there? Who did you play with? What did you play with, like a climbing apparatus? Swings? Please also try to include an anecdote, or an interesting episode or event, as it will help with your storytelling. 「それでは、ライティングの活動をしましょう。まずワークシートを配ります。この活動では、子どもの頃、公園や遊び場で遊んだ懐かしい思い出を書いてもらいます。基本的な内容として、その公園や遊び場の場所、そこで遊んだのはいつか、誰と一緒に遊んだのか、何をして遊んだのか(例えば、ジャングルジムやブランコなど)などを書き入れるのを忘れないでください。さらに、できるだけおもしろいエピソードや体験談などを入れるようにすると、あとで話すときに役立ちます」</p> <p>- Begin with, <i>I will talk about a memorable experience from my childhood.</i> And write as much as you can. Don't worry about spelling or grammatical errors. Okay, ready? Go. 「書き出しは、<i>I will talk about a memorable experience from my childhood.</i> (私の子どもの頃の懐かしい思い出について話します)で始めてください。そしてできるだけたくさん書いてください。スペルや文法的なまちがいは気にせずに書きましょう。いいですか。それでは始めてください」</p> <p>- Okay. Please stop writing. 「それでは、書くのをやめてください」</p>
<b>4/3/2 repeated storytelling</b> [12分]	<p>10-minute writing で書いた文章を元に、ペアを組んでお互いに <i>storytelling</i> を行う。聞き手はじっと聞くようにするが、最後に質問をしたり、感想を述べたりする。この活動では、ペアの相手は 3 回替える。最初のパートナーとは 4 分で、次の人とは 3 分で、そして最後の相手とは 2 分で話し、単語や表現の定着と話し言葉の流暢さ向上を目指す。[L, S, R]</p> <p>- Find a partner and tell him or her the story that you wrote in the 10-minute writing activity. Describe the story in four minutes. Then, find another partner and describe the story in three minutes. Finally, with a third partner, describe the story in two minutes. 「ペアを組み、先ほどの 10 分間ライティングの活動で書いた話をパートナーに話しましょう。話す時間は 4 分間です。次にパートナーを変えて、同じ話を今度は 3 分間でするようにします。最後のパートナーには 2 分間で話をするようにまとめます」</p> <p>- The listener should listen carefully during the partner's narration, but should also ask questions or make comments after the story is finished. For example, <i>How long did you play in the park every day? If you were a parent, would you encourage your children to play with their friends in a park? It sounds like you had a great time then! Did you do your studies when you got back home?</i> 「聞き手は、聞くときにはしっかりと話に集中しますが、聞き終わったら、質問をしたり、コメントを言わなければなりません。例えば、<i>How long did you play in the park every day?</i> (毎日何時間ぐらい公園で遊びましたか?) <i>If you were a parent, would you encourage your children to play with their friends in a park?</i> (もし自分が親だったら、子どもを公園で友達と遊ばせますか?) <i>It sounds like you had a great time then!</i> (ずいぶん楽しかったみたいですね!) <i>Did you do your studies when you got back home?</i> (勉強はうちに帰ってからやったのですか?) などでもいいですね」</p> <p>- Are there any volunteers who would like to share your experiences? Or would you like to recommend anyone? 「自分の体験を発表したい人はいますか?または、だれか推薦したい人はいますか?」</p>
<b>宿題</b>	<p>1) Vegetables (p. 69), World Map (p. 202~203), Marine Life, Amphibians, and Reptiles (p. 212~213), Mammals (p. 216~217)の単語や表現について学習するように指示する。 2) Jobs and Occupations (p. 166~169)の単語や表現について学習するように指示する。[R, S]</p> <p>- Study the words and expressions on pages 69, 166-169, 202-203, 212-213, 216-217. You will use them in activities in class. 「69、166~169、202~203、212~213、216~217 ページの単語と表現を覚えてきてください。次の授業のアクティビティで使います」</p>

## クラス 2 (50 分)

### リスニング [25 分]

*Basic Tactics for Listening* の Unit 6 Jobs を用いて、仕事に関するリスニング活動を行い、職業を表す単語の定着を図る。[L, S, R]

- You're going to listen to descriptions about jobs. Please look at Listening 1 on page 22 of your textbooks. Read the directions and the answer choices. Are there any words you don't understand?  
「これから仕事についての話を聞きます。テキストの 22 ページの Listening 1 のところを見てください。説明と選択肢に目を通しましょう。意味がわからない言葉はありますか」
- Let's listen. People are talking about work. What jobs are they talking about? Listen and circle the correct answer.  
「それでは聞いてください。いろいろな人が仕事について話しています。どんな仕事について話しているのでしょうか。よく聞いて正しい答えに○をつけてください」
- Let's check the answers. Number 1, the answer is...  
「答え合わせをします。1 番の答えは……」
- Let's move on to Listening 2, Task 1. People are talking about their work. Check the correct information about each person.  
「では、Listening 2 の Task 1 をやってみましょう。ここではいろいろな人が自分の仕事について話をしています。1 人 1 人の話について正しい答えにしるしをつけてください」
- Okay, now can you tell me the answers?... Next, we'll do Task 2. You will listen to the same dialogue but will complete a new task. Listen again. Match the people on the left with the information on the right.  
「それでは、答えを言ってください。……次は、Task 2 です。先ほどと同じ会話を聞きますが、タスクのやり方がちがいます。もう 1 度音声を聞いて、左側の人物と合う内容のものを右側から選んでください」
- Shota, can you tell me the information about Ryan? Megumi, can you tell me the information about Bridget?  
「ショウタ、ライアンの話の内容と合うものはどれですか? メグミ、ブリジットについてはどうですか?」
- Lastly, we'll do Listening 3. Let's start with Task 1. Listen to people talking about their jobs. Do they like their jobs? Check the correct answer.  
「最後に、Listening 3 をやります。Task 1 から始めましょう。ここでは自分の仕事について話している人たちの話を聞きます。この人たちは自分の仕事を気に入っているのでしょうか。正しい答えにしるしをつけましょう」
- What did you think of the listening? The descriptions may be a little difficult, so I'll hand out the audio scripts. If you think the listening task is difficult, you can look at the audio scripts while you listen. Let's listen to the narrations again...  
「リスニングはどうでしたか? 少し難しかったかもしれませんね。スクリプトを配りますので、難しかったと思う人は、このスクリプトを見ながら音声を聞いてみましょう。もう 1 度ナレーションを聞きます」
- Let's check the answers together. Can anyone tell me the answer to number 1? ...  
「一緒に答え合わせをしましょう。1 番の答えは何ですか? ……」
- Did you get them all right? Do you have any questions? If not, let's work on Task 2. I'll play the same track again. This time, find out what the people like or dislike about their jobs. Check the correct answer.  
「全部わかりましたか? 何か質問はありますか? 質問がなければ、Task 2 に移ります。同じところをもう 1 度かけます。今度はここに出てくる人たちが自分の仕事に関して何が好きか嫌いかをよく聞いて、正しい答えにしるしをつけてください」
- Okay, let's check the answers. Any volunteers to answer number 1?  
「それでは答え合わせです。1 番の問題の答えを言ってくれる人?」

紙の辞書を使用すると、対象とした単語以外にも目を向けることができるため、幅広いボキャブラリーを習得することができます。

木村 彰志 — 加藤学園 暁秀高等学校

<p><b>Game Show!</b> [25 分]</p>	<p>事前準備: 39 ページのようなグリッドと Vegetables (p.69), Jobs and Occupations (p.166~169), World Map (p. 202~203), Marine Life, Amphibians, and Reptiles (p. 212~213), Mammals (p. 216~217)などの語句からそれぞれ 5 つ項目を選び、それを説明する文を <i>Oxford Essential Dictionary</i> などを利用して用意し、難しさのレベルを考え、10 points から 50 points に分けて並べる。</p> <p>活動:まず、5 人グループを作らせ、それぞれに 1~5 の番号を振る。まず、各グループの 1 番の生徒だけ立たせて、教師が選んだ説明文を読み上げ、その説明文が表す項目を答えさせる。1 番最初に手をあげて正しい項目を答えた生徒のチームにその説明文の点数を与える。次の質問は正しい項目を答えた生徒が選び、各チーム 2 番の生徒が回答することになる。このような形で活動を進めて行き、最後に合計点が一番高いチームが優勝となる。[L, S]</p>
	<p>- Make a group of five people and assign numbers from one to five for each person. The number 1s go first, and then the number 2s, etc. You will work as a team and will try to get as many points as possible. The team that gets the highest total score will be the winner.</p> <p>「まず 5 人グループを作ります。1 人ずつに 1~5 まで番号を振ります。1 番の人がまず最初に問題に答えて、次に 2 番の人が……という風に続けます。これはチーム対抗ですから、チームとしてできるだけ多くのポイントを得るようにしてください。最終的に 1 番たくさんポイントを獲得したチームが優勝ということになります」</p> <p>- I will read a definition for a word. When you know what the word is, please raise your hand. The person who raises their hand first can give their answer. If you get the correct answer, you can choose the next question.</p> <p>「これからある単語の説明文を読みます。その単語が何かわかった人は手をあげてください。最初に手をあげた人に解答権があります。答えが合っていれば、その人が次の問題を選ぶことができます」</p> <p>- Okay, let's go. First, number 1s, please stand up. I will read a definition from Mammals 10 points. <i>This is a wild animal that looks like a large dog and lives and hunts in groups.</i></p> <p>「それでは、やってみましょう。各グループの 1 番の人は全員立ってください。Mammals (哺乳類) の 10 ポイントの問題を読みます。This is a wild animal that looks like a large dog and lives and hunts in groups. (野生動物で大型のイヌのように見えます。群れで狩りをします)」</p> <p>- Yes, Kenta! (Kenta: Wolf!) Yes, Bingo, a wolf. 10 points go to Group 2.</p> <p>「はい、ケンタ!(ケンタ: Wolf!)はい、正解、オオカミですね。グループ 2 は 10 ポイント獲得です」</p> <p>- Okay next. Number 2s, please stand up. Kenta, can you choose the next question? (Kenta: Jobs and Occupations 10 points).</p> <p>「次は 2 番の人たち立ってください。ケンタ、次の問題を選んでください。(ケンタ: Jobs and Occupations (職業) の 10 ポイント)</p> <p>- Listen carefully. This describes someone whose job is to design buildings. This job is... Kaori, did you get it? (Kaori: Architect!) Exactly, an architect. 10 points go to Group 5...</p> <p>「よく聞いてください。This describes someone whose job is to design buildings. This job is... (この人は建物の設計をする人で、その職業とは……) カオリ、答えがわかりましたか? (カオリ: Architect!) そうですね。An architect (建築家) です。グループ 5 に 10 ポイント入りました。</p> <p>- Now let's check which group has the highest total points. Group 1 has 50 points. Group 2 has 70 points...Group 5... So the winner is Group 5. Congratulations! Everyone, give them a big hand.</p> <p>「さあ、どのグループが一番得点が高いか見てみましょう。グループ 1 は 50 ポイント、グループ 2 は 70 ポイント……グループ 5 は……ということで、優勝はグループ 5 でした。おめでとう! みんな、拍手をしましょう」</p>

### Game Grid (for students)

Game Grid				
Mammals	Marine Life, Amphibians, and Reptiles	Jobs and Occupations	World Map	Vegetables
10	10	10	10	10
20	20	20	20	20
30	30	30	30	30
40	40	40	40	40
50	50	50	50	50

### Definitions (for the teacher)

#### Mammals

10 points: This is a wild animal that looks like a large dog and lives and hunts in groups. (A: wolf)

20 points: This is a wild animal that can run very fast, eats grass, and has horns. (A: deer)

30 points: This is a large desert animal with a long neck and either one or two humps on its back. (A: camel)

40 points: This is a tall African animal with a very long neck and legs and dark spots on its yellow-brown fur.  
(A: giraffe)

50 points: This is a large heavy African animal with thick skin and either one or two horns on its nose. (A: rhinoceros)

#### Marine Life, Amphibians, and Reptiles

10 points: This is a small green animal that lives in and near water. (A: frog)

20 points: This is an animal that lives in and near the sea. It has a hard shell and ten legs. (A: crab)

30 points: This is a sea animal that we eat, with a soft body and ten long parts called tentacles. (A: squid)

40 points: This is an animal with a hard shell on its back, that moves very slowly (A: turtle or tortoise)

50 points: This is a long fish that looks like a snake (A: eel)

#### Jobs and Occupations

10 points: This is a person who makes and sells bread and cakes. (A: baker)

20 points: This is a person who designs buildings. (A: architect)

30 points: This is a person who owns or works in a shop that sells flowers. (A: florist)

40 points: This is a person who looks after a child while the parents are not at home. (A: babysitter)

50 points: This is a person who makes lists of all the money that people or businesses receive and pay.  
(A: accountant)

#### World Map

10 points: This is a country located in North America with a national flag that has stars and stripes.  
(A: the United States of America)

20 points: This is a country located in North America with a national flag that has a maple leaf. (A: Canada)

30 points: This is a country located in Asia with a capital called Bangkok. (A: Thailand)

40 points: This is a country located in Africa, which is famous for its ancient pyramids (A: Egypt)

50 points: This is a country located in Europe, which is famous for its Coliseum and leaning tower. (A: Italy)

#### Vegetables

10 points: This is a round soft red fruit eaten raw or cooked as a vegetable. This is often used in Italian food as one of the main ingredients. (A: tomato)

20 points: This is a round vegetable with many layers and a strong smell. (A: onion)

30 points: This is a very small round green vegetable. (A: pea)

40 points: This is a round white vegetable that grows under the ground. (A: turnip)

50 points: This is a round dark red vegetable that you cook before you eat. (A: beet)



# ■ クリティカル・シンキングを導入する授業

## ◇ クリティカル・シンキング指導のポイント

クリティカル・シンキングとは情報を論理的に分析することである。述べられた情報について、自分の考えを元に、同意したり反論したりする。また、一般に受け入れている考えよりも優れたものを考え出す。意見を述べる際に、その意見を裏づけするための例や理由を加え、論理に基づいた主張をすることが基礎とされる。

1. Language-focused learning (言語を重視した学習)の指導として、日頃から自分の考えや意見を述べるのに役立つ表現や効果的なディスカッションの方法についてモデルとなる討論を DVD 等で見せて指導する。
2. 賛否両論が起ころうな現代社会の問題で、生徒が興味を持つような事柄を扱った教材を選ぶ。
3. Meaning-focused input (意味を重視したインプット)と成り得る、易しい英語で書かれたものや語られた教材を用いる。あるいは、4 技能統合型の指導を行い、同じテーマを扱ったリーディングとリスニングを組み合わせることで細部にいたるまで理解ができるようにする。
4. 英文を何度か読ませたり聞かせたりした後、扱われている問題に関して更なる背景情報を調べさせる。
5. ペアワークやグループワークを利用して、教材に取り上げられている問題について分析させ、賛成できる点と賛成できない点について考えさせる。
6. 教師がディスカッションのテーマを提示し、考えるべき観点について話し合わせるようにする。
7. グループで話し合った後に他のグループやクラス全体で意見を交換し、問題に対して更に深い理解ができるようにする。
8. クラスの生徒の意見を聞いた後、問題に対する自分の考えを reaction/response paper (小論文またはレポート)の形にまとめさせるなど、4 技能統合型の授業展開にする。

## ◇ 授業例

教材	Q: <i>Skills for Success Listening and Speaking, Level 3</i> Unit 9: Can money buy happiness?
英語レベル	中級
授業時間	50 分授業 2 回
目的	・リスニングをしながら、情報を論理的に分析する。 ・述べられた情報について、自分の考えを元に、同意したり反論したりする。 ・意見を述べる際に、その意見を裏づけするための例や理由を加え、論理に基づいた主張を展開する。

[各タスクの学習スキルは次のように表示されています。S = スピーキング、L = リスニング、W = ライティング、R = リーディング]

前回の宿題	Preview the Unit の Activity A と C を pre-listening の活動として、自分の考えをまとめてくるよう指示を出す。ここで背景知識を活性化するとともに、授業で最初に行う口頭導入 (oral Introduction) の手助けにする。[R, W]
	- Take a look at the questions in A on page 167 and write down your answers to them, and also complete Activity C. [167 ページのアクティビティ A の質問に対する答えを書いてきてください。また、C のアンケートにも答えてきてください]

## クラス 1 (50 分)

<p>あいさつ [2 分]</p>	<p>英語での授業の雰囲気作り、ウォームアップを兼ね、今回の授業のテーマに関することをざりげなく導入する。[L, S]</p> <p>- Good morning everyone. Most of you look happy now. Are you happy, Keiko? What makes you happy? Have you ever thought about it? Meeting nice people? That's a very good factor, Keiko. 「みなさん、おはよう。みんな幸せそうにみえますね。ケイコ、あなたは今幸せですか?あなたが幸せになるために必要なものは何ですか?それについて考えたことがありますか?すばらしい人との出会い?それは重要ですね」</p> <p>- And what about you, Takuya. Is that important for you? What makes you happy? 「タクヤ、あなたはどうですか?人との出会いは大切ですか?あなたにとって、幸せになるために必要なものは何ですか?」</p>
<p>口頭導入および小グループでのディスカッション [18 分]</p>	<p>冒頭のあいさつからの自然な流れで oral Introduction (口頭導入) を行いながら、宿題となっていた Preview the Unit の activity A と C の質問 discussion に結び付ける。[L, S]</p> <p>- So everyone came up with several important factors that make you happy, such as meeting nice people, feeling a sense of achievement, and having a good family. But in reality, it seems that many people think having a lot of money makes you happy. 「幸せになるために何が大切か、いろいろな意見が出ました。人との出会い、達成感を味わう、すばらしい家族を持つなどいろいろありました。でも、実際には、お金がたくさんあればあるほど幸せになれると考える人も多いようです」</p> <p>- Today, we will discuss whether more money makes people happier. 「今日は、お金がたくさんあれば人は幸せになれるかどうかということについて話し合います」</p> <p>- Look at the picture on page 166. Do you think the people living in this house are happy? 「166 ページの写真を見てください。みなさんはこの家に住んでいる人は幸せだと思いますか」</p> <p>- Okay, good. Now, make small groups as usual and discuss the first two questions. 「はい、いいですね。それでは、いつものように少人数のグループに分かれて、最初の 2 つの質問について話し合ってください」</p> <p>- Okay, I would like to hear your opinions. Tomomi, can you share your group's opinions with the rest of the class? 「それではみなさんの意見を聞かせてください。トモミ、グループで出た意見を皆に発表してください」</p> <p>- Good. That's very thought-provoking. What are some of the factors that are more important than money? 「すばらしい。なかなか考えさせられる意見です。お金よりも大切なものとは何でしょうか?」</p> <p>- Do other people agree? Do you have any different opinions? 「みなさん、そう思いますか?何かほかにも意見はありますか?」</p>
<p>LISTENING 1 Vocabulary, Preview Listening 1 [10 分]</p>	<p>これまでのディスカッションで活性化された表現や情報を元に、リスニング活動を行う。その手助けとして、Vocabulary: A Lucky Winner? の文書を読み、ターゲットワードを用いた穴埋め活動を導入する。それに引き続き Preview Listening 1 も行う。[L, S, R, W]</p> <p>- Look at the Vocabulary section. You may already know some words and phrases, but read the definitions carefully. Then, read the paragraphs below and fill each blank with a word or phrase that best suits it. 「169 ページの Vocabulary のところを見てください。すでによく知っている単語やフレーズがあるかと思いますが、ここに書いてある意味をよく読んで確認してください。そして、その下のパラグラフを読んで、あいているところに正しい言葉を入れましょう」</p> <p>- If you finish early, work on Preview Listening 1 as well. I will give you five minutes. 「早く終わった人は、Preview Listening 1 もやりましょう。時間は 5 分です」</p> <p>- Let's check the answers together. I'm going to read the paragraphs and stop right before each blank. Please tell me your answer for each blank. 「それでは答え合わせをしましょう。文を読みますので、空欄のところまで読んだら誰か答えを言ってください」</p> <p>- What should fill this blank? Any volunteers? 「ここに入る単語は何ですか?わかる人?」</p>

<b>Listen for Main Ideas</b> [3分]	<p>読解問題での理解をもとに、まず話の要点を理解するリスニング活動を行い、解答を確認する。 [L, S, R]</p> <p>- Listen to the story and try to understand the main points. 「これからあるストーリーを聞きます。よく聞いて、要点をつかむようにしてください」</p> <p>- Let's go over the answers together. I will tell you the answer for number 1. The answer is ... Did you get it correct? Could someone tell me why the answer is...? 「それでは一緒に答え合わせをします。1番の答えを言います。答えは……です。みなさん合っていましたか?理由を説明できる人はいますか?」</p>
<b>Listen for Details</b> [7分]	<p>要点を説明する例について聞き取りを行い、メモを取らせる。生徒は、この活動を行うことで意見を述べる際にそれを裏づけする例や証拠を示すことの大切さを学ぶことができる。 [L, W]</p>
<b>ディスカッション： What Do You Think?</b> [5分]	<p>小グループを組むように指示し、テキストの3つの質問からひとつずつそれぞれのグループに割り当てて討論を行うように指導する。[L, S]</p> <p>- Now, please make small groups again. I will assign one of the three questions from the textbook to each group. 「今度は、また少人数のグループに分かれて討論をします。テキストの3つの質問を1つずつ各グループに割り当てます」</p> <p>- Group 1, please discuss question 1... Group 2, please discuss question 2... 「グループ1は質問1について話し合ってください。グループ2は質問2です……」</p>
<b>意見の発表</b> [5分]	<p>各グループに意見を発表させる。発表された考えを、ホワイトボードを使ってまとめる。[L, S]</p> <p>- Please report your group's opinions to the class. The group at the front, what question did your group discuss? 「グループで出た意見を発表してください。1番前のグループ、どの質問について話し合いましたか」</p> <p>- Good, so what you are saying is... Did another group discuss the same question? Were your opinions similar to the first group? 「なるほど、つまり……のような意見が出たのですね。同じ質問について話し合ったグループ、同じような意見が出ましたか?」</p> <p>- Okay, everyone. Thank you very much for contributing your opinions to the class. We will continue working on the same topic in the next lesson. 「みなさん、いろいろな意見を出してもらってありがとうございました。次のレッスンでもこのトピックについて学習します」</p> <p>- You have an assignment to complete for the next class. 「次回までに宿題をやってきてください」</p>
<b>宿題</b>	<p>Listening Skill: Listening for signposts の説明を読み、そこに挙げてある表現のどれが、アクティビティAの空欄に入るのか考えさせる。この活動を通して論理的思考力を養う。[R, W]</p> <p>- Read the explanation in Listening Skill: Listening for signposts and the script in activity A. Think about which expression fits each blank and bring your answers to the next class. 「Listening Skill: Listening for signposts と、アクティビティAのスクリプトを読んで、空欄に入る表現として適当なものを記入して、次回持ってきてください」</p>

あえて言うなら「クリティカル・シンキングを指導する」ということはできません。優れた指導者は、適切な話題に対して適切な問いかけをすることによって、生徒たちが本来持っている好奇心を引き出すことができるものです。生徒のもっと知りたいという欲望を活用すれば、分析や熟考、解釈といった思考法へと生徒を導き、高度な思考力を養うことが可能となります。

David Cooper — AICJ 中学・高等学校

クラス 2 (50 分)	
Listening Skill アクティビティ A [5 分]	アクティビティ A のリスニングを行い、課題の答えを確認する。[L, R]
	- Listen to the CD and check if the answers you prepared for homework are correct. Please remember that more than one answer is possible for some of them. 「CD を聞いて、宿題の答え合わせをしましょう。問題によっては、答えが 1 つ以上の場合もありますよ」 - Did you get most of them correct? Do you have any questions about the answers? As I said, more than one answer is possible for some of the blanks. 「大体合っていましたか? 質問はありますか? 先ほども言ったように、答えが 1 つ以上になる場合がありますよ」
アクティビティ B [5 分]	アクティビティ B を行うよう指示し、生徒同士で答えを確認させ、質問を受けるようにする。[L, S, W]
	- Do activity B and check the answers with your partner. If you have questions, please raise your hand and ask me. 「アクティビティ B をやって、パートナーと答え合わせをしてください。質問のある人は手を挙げて」
LISTENING 2 Vocabulary [10 分]	Listening 2 の理解に必要となる Vocabulary の問題を行うように指示し、答えあわせをする。[L, S, R, W]
	- Read the sentences in Vocabulary and choose the word that best suits each of the definitions below. 「テキストの Vocabulary の 1~10 の文を読んで、a~j までの意味に合う語句を選んでください」 - Are you finished? Okay, tell me what best suits a. <i>the state of being free and not controlled by another person</i> ? 「終わりましたか? それでは、a. <i>the state of being free and not controlled by another person</i> . (他人の意向に左右されない、自由な状態) に合うものを選んでください」
Preview Listening 2 [5 分]	幸せとお金の関係について語る心理学者のインタビューを聞く。まず、どのような内容か予想させた後に、リスニングを行い、その予想が正しかったかどうか確認させる。[L]
	- You are going to listen to an interview with a psychologist who does research on happiness. Before you listen, predict what she will say about the relationship between money and happiness. Choose one of the statements that you think she will talk about. 「これから、ある心理学者へのインタビューを聞きます。この人は幸せについての研究を行っています。インタビューを聞く前に、お金と幸せの関係について、何と言うか予想してみましょう。テキストの 3 つの文から 1 つを選んでください」 - Okay, let's play the CD. Listen to the interview and find out what she says about the relationship between money and happiness. 「それでは CD をかけます。お金と幸せの関係について何と言っているかよく聞いてください」 - Was your guess correct? 「予想は当たっていましたか?」
Listen for Main Ideas [5 分]	インタビューの要点を理解するリスニング活動を行い、解答を確認する。[L, R]
	- Listen to the interview and choose the correct answer for each of the questions. 「インタビューをもう一度聞いて、正しいものを選びましょう」 - Let's review the answers together. The answer for number 1 is <i>b. personal relationships</i> . Did you answer correctly? 「それでは一緒に答え合わせをしましょう。1 番の答えは b の <i>personal relationships</i> ですね。合っていましたか?」
Listen for Details [5 分]	内容の詳細な部分を理解する聞き取りを行う。[L, R]
	- Listen to the interview again and answer whether each statement is true or false. 「もう 1 度 CD を聞いて、それぞれの文の内容が合っている (True) か間違っている (False) か判断してください」 - Now, check your answers with your neighbors. 「それでは近くの人と答え合わせをしてください」

<p><b>ディスカッション： What Do You Think?</b> [8分]</p>	<p>小グループを組むように指示し、テキストの A. Discuss the questions in a group の 2 つの質問についてそれぞれのグループで討論を行うように指導する。また、クリティカル・シンキングを必要とする B. Think about Listening 1 and Listening 2 as you discuss questions. の 2 つの質問についても考えるように指導する。 [L, S, R]</p> <p>- Now, make small groups and talk about the two questions in section A. 「今度は、少人数のグループに分かれてディスカッションをします。テキストのアクティビティ A の 2 つの質問について話し合しましょう」</p> <p>- Please also discuss the two questions in section B. 「次にアクティビティ B の 2 つの質問についても話し合しましょう」</p>
<p><b>意見の発表</b> [7分]</p>	<p>各グループに意見を発表させる。発表された考えを、ホワイトボードを使ってまとめる。 [L, S, R]</p> <p>- Now I would like you to report your group's opinions. Sayaka, can you summarize the opinions your group members expressed about question 1? 「それではディスカッションの内容を発表してください。サヤカ、質問 1 についてグループの意見をまとめてくれますか?」</p> <p>- Thank you, Sayaka. I think other groups may think the same way. How about Misato's group? Did your group have the same opinions? 「サヤカ、ありがとう。同じ意見のグループもあると思いますよ。ミサトのグループはどうですか?同じ意見が出ましたか?」</p>
<p><b>その他</b></p>	<p>上記の 2 回の授業に引き続き、さらに時間を取って、テキストの残りの部分を指導する。 Vocabulary Skill: Definitions of similar words と Grammar: Types of sentences は、生徒にダウンロードした音声聞かせて self study (自学自習) をさせる。</p> <p>Pronunciation: Intonation in different types of sentences は、授業で教師が CD を用いて指導する。 Speaking Skill: Agreeing and disagreeing については教師が指導し、アクティビティの A を通じて賛成意見、反対意見を述べる表現方法を学ばせる。</p> <p>さらに、Unit Assignment: Take part in a group discussion を通じて、これまで検討した内容と自分の経験を元に、Can money buy happiness? について、Consider the Ideas の 4 つの質問を参考にしながら、ペアで話し合いをさせ、Prepare and Speak の A. Gather Ideas の質問に対してメモを取らせる。このアクティビティの目的は、自分の考えを深めるとともに、1 度パートナーと話し合わせることで、グループでの討論の準備をさせることである。その後、B. Organize Ideas に移り、小グループで Consider the Ideas の中からひとつ質問を選んで、討論を行わせ、Ideas that I agree with / Ideas that I disagree with の項目にメモを取らせる。このようなペアや小グループでの討論を通して、生徒は自分が考えなかった観点に気づくことができ、クリティカル・シンキングのスキルを高めることができるのである。</p>

クリティカル・シンキングの指導で大切なのは学習環境です。質問することが奨励され、知的好奇心を刺激するような環境を創り出しましょう。

Sean M. Gregory — 大阪府立佐野高等学校

## 多読と多読プログラムの例

### ■ 多読を進めるにあたっての重要な指導のポイント

Ten Principles of Extensive Reading posited by Day and Bamford<sup>1</sup> によると、多読を行う際の大切な指導のポイントには以下のようなものがある。

1. The reading material is easy.  
平易な本を選ぶ。
2. A variety of reading material on a wide range of topics must be available.  
生徒の好みと英語力に応じたいろいろなジャンルの本を用意する。
3. Learners choose what they want to read.  
学習者が読みたい本を選ぶ。
4. Learners read as much as possible.  
できるだけたくさん読むように促す。
5. The purpose of reading is usually related to pleasure, information, and general understanding.  
楽しみや情報を得たり、大まかな理解を得るための読書を促す。
6. Reading is its own reward.  
読むことそのものから恩恵を得られるようにする。
7. Reading speed is usually faster rather than slower.  
普段授業などで読むときよりも速く読むように指導する。
8. Reading is individual and silent.  
1人で黙読するように勧める。
9. Teachers orient and guide their students.  
教師は生徒が多読に取り組み、そして継続するように導く。
10. The teacher is a role model of a reader.  
教師は多読に取り組む生徒のモデルとなるようにする。

### ■ 精読と多読について

以上のように、これまでの授業で扱ってきた読解の指導とは異なり、生徒個人の興味と英語力に合った本を選ばせて、辞書はなるべく引かせないようにして、自ら進んでできるだけ多く読ませるように導くことが大切である。別の観点から言えば、生徒ひとりひとりの内的動機付けを促す形で、自ら進んで授業外で毎日ある程度の量を読むような習慣を形成し、autonomous language learning (自律的言語学習) につなげていくことが狙いである。研究によると、この extensive reading (多読) で語彙を増やす incidental learning (偶発的学習) を行うためには、2週間に1冊ペーパーバックを読むくらいが適切であると言われている。最近高校や大学でも多読が積極的に取り入れられており、生徒や学生からは「読書が楽しくなった」とまずまずの評価を得ているようだ。教師が主体となって進める intensive reading (精読: Nation and Newton の the four strands of teaching<sup>2</sup> の分類では、language-focused learning に入る) の授業だけでなく、生徒自ら進んで取り組む易く楽しい読書 extensive reading (多読: the four strands of teaching では fluency development に入る) の授業も大切であると考えられている。事実、読解指導の研究の中には、精読指導よりも多読指導の方が高い効果が見られるとする結果を報告しているものもある。次に、多読指導の実際について見ていく。

1 Day & Bamford, 2002

2 Nation & Newton, 2009

## ■ 多読プログラムの例

教材	Oxford Bookworms Library
英語レベル	初級～上級
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の好きな本を長期間かけて毎日読み、英語を読むことの楽しさを体験させる。</li> <li>・内的動機付けを高めることで、英語学習全般に対する取り組みを積極的なものにし、自律的な学習を推進する。</li> <li>・好きな本を多読することで、英語の語彙を増やす。</li> </ul>

1. 多読プログラムを始めるということと、その方法について説明する。1文1文訳す「読解」が習慣化している生徒が多いため、自分で好きな本を選んで、辞書を引かずに、毎日少なくとも30分読み、話の内容を楽しむことが目的であることを伝えるようにする。

プログラムの紹介	<p>Today, we're going to start an extensive reading program. You are going to read a lot of books that you will choose from the library. Sound interesting?</p> <p>There are a few important points you need to remember, because you will be reading stories in a very different way! It will be different from how you read your textbooks.</p> <p>「今日から多読プログラムを始めたいと思います。このプログラムでは本をたくさん読みます。本は図書館へ行って自分で好きなものを選びます。おもしろそうでしょうか？このプログラムではこれまでと全く違う方法で英文を読むので、いくつか重要なポイントを説明しておきましょう。テキストを読むときはちがうですよ」</p> <p>- First, you don't read stories for studying English. You read them for pleasure. In other words, what you are going to do is real-life reading. So try not to use a dictionary when you come across words that you don't understand. Instead, refer to the glossary at the bottom of each page or at the back of the book.</p> <p>「まず、このプログラムでは英語を勉強するために本を読むのではなく、内容を楽しむために読みます。つまり本当の意味で『読書』をするということです。ですから、わからない単語が出てきてもできるだけ辞書は引かないようにします。その代わりに、脚注にある用語解説を参考にしたり、巻末の用語集を調べたりします」</p> <p>- Second, don't translate sentences as you often do in class. Try to read as much as possible and as fast as possible. If you read bit by bit and slowly, you won't remember the story well. Read at least 30 minutes a day in a quiet place.</p> <p>「次のポイントは、いつもクラスでやっているように1文1文訳そうとしないということです。できるだけたくさん、できるだけ速く読むようにします。少しずつゆっくり読んでいると内容がよくわからなくなるからです。静かな落ち着いた場所で1日30分は読みましょう」</p> <p>- Third, I'll give you a list of books that are available in the library. Why don't you take a look and see which books you would like to read?</p> <p>「3つ目のポイントは、このリストです。これは図書館で借りられる本のリストです。よく見て、どの本が借りたいか考えてみてください」</p>
----------	---

2. 多読プログラムの意味や価値を伝えるために、教師が生徒と同じ年頃の読書体験について、自分の好きな話や感動したこと、学んだことについて語るとよい。教師自身が多読の価値を認め、その効果を信じていることが重要である。

<p>多読の利点を説明する</p>	<p>You may be thinking that it is too difficult to read so many books without using a dictionary, but students who have experienced extensive reading love it. They enjoy reading books and their confidence in English increases.</p> <p>When I was a university student, I read the <i>Harley Quinn Romances</i> in English because they were written in easy English and I loved romances in those days. I know you don't believe that! I was so attracted to love stories that I kept reading them for more than six months. To tell you the truth, I loved reading them more than university textbooks. Then you know what happened? My reading and vocabulary skills improved. I felt a sense of achievement. I had more confidence in learning English. Also, I learned a lot of interesting information from reading books. I wanted to share this information, so I had more to say in speaking class! I became more motivated to learn English.</p> <p>Well, I guarantee that you will have a similar experience soon during or after this extensive reading program. Believe me, and let's start reading books together!</p> <p>「辞書も使わないで、そんなにたくさん英語の本を読むなんて難しいと思っているかもしれませんがね。でも、多読を経験した人たちはみんな楽しかったと言っています。英語での読書を楽しむことによって、英語に対する自信がわいてきたのですね。</p> <p>私が大学生のときは、英語でハーレクイン・ロマンスを読みました。英語が簡単だし、当時はロマンスものが好きだったのです。信じられないでしょうね!でも、ハーレクイン・ロマンスはほんとうにおもしろくて、半年以上も読み続けたのです。正直言って、学校の教科書よりずっと楽しめました。そしてどうなったと思いますか?なんとリーディング力と語彙力がアップしたのです。ある種の達成感も味わうことができました。そして英語に対して自信が持てるようになってきました。それに、読書によっていろいろな知識を得ることができたので、それを誰かに話したいという気持ちが出てきて、スピーキングのクラスでもいろいろな話ができるようになったのです!英語の勉強に対するモチベーションがますます上がって行きました。</p> <p>このプログラムの最中や終了後には、みなさんもきっと似たような経験をしたいと思います。私が保証します。さあ、一緒に英語の読書を始めましょう!」</p>
-------------------	--

読書への関心を持たせるためには、教師自身が読書好きになることが大切です! 生徒が読む物はあらかじめ読んでおきましょう。過去に多読に成功した生徒の話や、それによって何を学んだかを話して聞かせましょう。

Scobie-John Le May-Grellan — 創価学園 創価高等学校

精読の利点は、形式と内容の双方に目を向けながら、注意深く読むことができるようになることです。

Crystal Brunelli — 東京女学館 中学校・高等学校



3. 生徒にはペースメーカーが必要となるため、教師が読書のスケジュールを作成する。生徒は英語だけでなく他教科の予習や復習、部活動や委員会活動などをこなさなければならないことを考慮し、無理のない計画を作成する。次に挙げるのは、実際に大学一年生のクラスで使われた実施計画表である。

<p>スケジュールの設定</p>	<p>Here is the schedule for our extensive reading program. As you can see, you will read five books in the first term. Please take a look and write these dates in your diary. I don't think reading five books a term will be difficult.</p> <p>「これが多読プログラムのスケジュールです。見てわかるとおり、1学期の間に読む本の数は5冊です。レポートの提出日を各自スケジュール表に記入しておいてください。1学期で5冊は決して難しいことではないと思いますよ」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><u>Extensive Reading Program (1st Term)</u>  SALCまたは図書館で好きな本を選び自分で読み進めましょう。前期は5冊が目標です。下記の期日に Book Report を提出してください。  提出日：  第1回：May 9th (Mon.)    第2回：May 23rd (Mon.)    第3回：June 13th (Mon.)  第4回：July 4th (Mon.)    第5回：July 26th (Mon.)</p> </div>
------------------	--

4. 定期的にブックレポート(読書の感想を書いたもの、英語でも日本語でもよい)を提出させ、英語の成績評価の対象となることを知らせる。ただし、あくまでも楽しみながら読むことが重要なので、ブックレポートを書くことが負担にならないように配慮する。また、授業中に時間を取り、ペアを組んで話の概略やおもしろかった点などの感想を報告させると、多読がより楽しくなり、またブックレポートを書くことに対してより多くの意味を見出すことができる。

<p>Book Report と Storytelling Task</p>	<p>You will read books, write book reports, and hand them in on the designated dates. Also on these dates, you will talk about your stories with three different partners in Japanese. You will give a brief summary of the stories you read and explain the most interesting point of the story.</p> <p>Look at the Book Report (Appendix 1) and Storytelling Task (Appendix 2)</p> <p>「みなさんは、本を読んでブックレポートを書き、それを提出日に出します。また提出日には、自分が読んだ本について3人のクラスメートと日本語で話をします。このときは、簡単なあらすじと、一番おもしろかった点を説明するようにします。</p> <p>これが Book Report (Appendix 1) と Storytelling Task (Appendix 2) です」</p>
--	--

精読は、標準テストでのスコアアップに役立ちます。  
奥田 紀子 — 愛知県立豊田東高等学校

日本の生徒は難しい本に接することが多いようです。このような本ばかりだと読書嫌いになってしまいます。多読を導入するとすれば、教師の負担は大きくなります。しかし、たとえ1週間に10分でも多読を行うことによって、生徒の読書に対する姿勢はプラスに転じ、自信が芽生え、読書スピードを上げることができるのです。

溝畑 保之 — 大阪府立鳳高等学校

5. ブックレポートの評価を行い、コメントをつけて返却する。教師が生徒の読んだ話に興味を持っていること、彼らを見守っていることなど、教師からの助言やほめ言葉が多読を続けさせる秘訣である。ほんの 1 行でもよいから、コメントを書くようにしたい(コメントについては、下記を参照)。また、できれば 1 学期に 1 度くらい個人面談を行い、学生の気持ちや多読の進行状況を確認し、励ましの言葉を与えるとより効果が増すと考えられる。

<p>ブックレポートの コメント</p>	<p>コメントの例：  a) A good description of the story. It made me want to read the book! Now I can't wait to read it!  (ストーリーの説明がうまく書けていますね。思わず読みたくなりました!早く読みたいです!)  b) Thank you for sharing a very interesting book with me. I'll read it soon.  (とてもおもしろそうですね。私も読んでみます)  c) I read this story too, and I felt the same way you did. It made me cry! It is a sad ending, but I really like the story.  (私もこの本を読んだことがあります。同じように感じました。思わず泣いてしまいました!最後は悲しいけれど、ほんとうに素晴らしいストーリーだと思います)</p>
--------------------------	--

6. また、毎回の授業で、何人かの生徒に自分が読んだ本についてのプレゼンテーションを行わせると、さらに積極的に取り組めるようになる。

<p>プレゼンテーション</p>	<p>In the next class, I would like you to present a simple summary of the story you read and the most interesting point of the story. Make sure you don't give away the ending! It should not be long, maybe 5 or 6 minutes. Don't forget to bring the book itself.  「次のクラスで、自分が読んだ本の紹介してもらいます。簡単なあらすじと1番おもしろかったところを説明してください。くれぐれも結末は言わないように!発表はそれほど長くないように5~6分程度で行ってください。本を持ってくるのを忘れないように」</p>
------------------	---

7. 学期の成績に評価を加えることは重要であるが、厳密に評価するのは難しいため、ブックレポートをしっかりと書いて期日までに提出したら A、内容が不十分の場合は B、期日までに提出できなかった場合は C というくらいの大まかな評価でもよい。また、**storytelling task** を行っているときの様子を評価に加えてもよいかもしれない。いずれにせよ、大切なことは事前に評価基準を示しておくことである。

※注意点：生徒によってはしっかりと読まず、何度も同じ本のブックレポートを提出したり、友人が提出したものやウェブ上にある作品の要約をそのまま写して提出する者がいるので、あらかじめ注意を喚起しておくことも重要である。

<p>評価</p>	<p>Please remember that the book reports will be graded. If you hand in the book report on the due date and write a good description of the story, I will give you an A. If the description is not clear and lacks some important information, your grade will be a B. If you don't hand it in on the due date, I will have to give you a C. Remember it is important to include <i>Who, What, Where, When, Why, and How</i> when you describe a story.  「大切なことですが、ブックレポートは評価の対象になり、成績に入ります。きちんとした内容のレポートを期日までに提出すれば A、内容が不十分の場合は B、期日までに提出できなかった場合は C になります。レポートには必ず、話の <i>Who, What, Where, When, Why</i> そして <i>How</i> の要素を取り入れるようにしてください」</p>
-----------	--

# Book Report

Student number:

Name:

Title of the book:

Author(s):

Directions:

- a) Choose a story and read it.
- b) Answer the following questions.

1. What is the story about?

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
-------------------------------------

2. What was the most interesting point of the story?

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
-------------------------------------

# Storytelling Task

Directions:

1. Find a partner and describe the storyline of a book you have read. Use a poster to show the storyline.

Make sure to clearly explain the background. What genre or type of story is it (mystery, action, etc.)? Who are the characters and what are their relationships? What is the setting of the story (time, place, etc.)?

2. While speaking, the storyteller should

- a) try not to read off the poster.

- b) stop before the climax of the story, and ask the listener what she/he thinks will happen.

- c) check the listener's comprehension.

*Do you understand the story so far?*

*Are you following me?*

*Do you have any questions?*

3. While listening, the listener should ask at least two questions about the description of the story.

*Why do you think the character did that?*

*Could you explain the story in more detail?*

*You said 'a tragedy'. What does it mean?*

*I don't follow what you are saying.*

4. After the speaker finishes, the listener should

- a) give comments on the story.

*Hmm, I'm not sure. It doesn't sound so interesting.*

*A really interesting story. I want to read it. Will you tell me the title again?*

*So you like mysteries. I like mysteries, too! We should share more books with each other!*

*Oh, that's just the kind of story I've been looking for.*

- b) ask questions about how the speaker felt after reading the book.

*How did you feel after reading it?*

*What do you like most about the story?*

*Do you recommend I read the book?*

*What did you learn from the story?*

5. After both of you complete the four steps, change partners. Complete the task again with a new partner.

Have fun and do as much as you can. Good luck with your storytelling!

## 試験の準備と対策

教材	大学入試センター試験過去問題（大学入試センターのウェブサイト <sup>1</sup> から入手可能）、 <i>Oxford Preparation Course for the TOEFL iBT™ Exam</i> 、 <i>Vocabulary Size Test</i> 、 <i>Vocabulary Levels Test</i> （Paul Nation のウェブサイト <sup>2</sup> から入手可能）
補助教材	<i>Select Readings, Second Edition</i> 、 <i>Intermediate</i> 、 <i>Developing Tactics for Listening, Third Edition</i>
英語レベル	中級～上級
目的	<ul style="list-style-type: none"><li>・大学入試センター試験のリーディングおよびリスニング問題に対応できる戦略を学べるようにし、効率よく得点できるようにする。</li><li>・TOEFL のリーディングおよびリスニング問題に対応できる戦略を学べるようにし、効率よく得点できるようにする。</li><li>・両方のテストに役立つ語彙を効果的に学習する。</li></ul>

### ■ 試験の準備や対策の大切さ

大げさに聞こえるかもしれないが、試験の結果というのは受験生の人生を左右しかねないほどの影響力を持つものである。TOEFL の結果であれば、英語圏の大学への留学が実現するかどうか、大学入試センター試験の結果であれば、志望大学に合格できるかどうかなどがかかっていることを思えば、その影響力はあまりにも大きい。われわれ教師はこのようなことを考慮に入れながら、試験の準備や対策を行うべきである。重要ポイントとしては、① TOEFL などの問題分析に取り組ませることで意識付けをはかる、②日頃の授業の一部にテスト対策を組み入れ、その対策を早い段階から自然な形で導入する、③授業外で問題演習を行なうよう促す、などが挙げられるだろう。

### ■ テスト分析とテスト対策の意識付け

実際にテストを受けることになっていても、多くの生徒はなかなかその準備に取りかからないものである。そこで大切になってくるのが、授業の時間を利用して、模擬テストを行ったり、テスト問題の分析をさせたりすることで、その対策と学習計画を立てさせることである。生徒の自主性に任せることも大切だが、学習を先延ばしにした結果、試験に失敗する例も多く見られる。また TOEFL は問題が難しいことから、1人で学習しているうちに行き詰ることも少なくない。このような場合は、グループ（study group）を組んで協調しながら取り組ませることも効果的である。次に、授業時間を利用しての問題分析とその意識付けについて見ていこう。

1 <http://www.dnc.ac.jp>

2 <http://www.victoria.ac.nz/lals/about/staff/paul-nation>

## ■ 日頃の授業で生徒に伝えるべき事柄

### ◇ テスト対策につながる全体的な事柄

基本的には、予習をして授業に積極的に参加し、復習を行うという学習サイクルを繰り返せば、ある程度のテスト対策は済んでいると言ってもよいだろう。特に大学入試センター試験であれば、内容的には授業だけでも十分対応できると思われる。その一方で、TOEFLとなると語彙のレベルが高く、構文も複雑になるとともに、リスニング問題では自然なスピードに近いレベルの英語を聞きとらなければならないため、高校の授業の学習内容だけでは十分でないと考えられる。そこで、普段の授業を生かしながら、さらに特別な勉強が必要になるため、生徒には次のような学習方法や習慣を身につけるよう促すことが大切である。ここでは TOEFL 対策を念頭において解説する。

1. Make the most of your English lessons and focus on improving vocabulary, grammar, reading, listening, and speaking skills.  
英語の授業を最大限活用して、ボキャブラリー、文法、リーディング、リスニング、スピーキングを中心に強化する。
2. Develop self-regulated learning strategies outside of the classroom. Set achievable goals (e.g. TOEFL 450), make a study plan, employ effective learning strategies, reflect on the learning process and your own learning.  
授業外でも自己管理学習ができるような方法を身につける。目標スコアを設置し(例: TOEFL 450 点)、学習計画を立て、自分の学習スタイルを見直しながら最も効果的だと思われる方法を選択する。
3. Make a study group and meet with your group members on a regular basis, discussing questions group members can't solve and then asking a teacher when needed.  
学習グループを作り、定期的に集まって、わからない問題について話し合ったり、必要に応じて教師に質問したりする。
4. Develop a habit of solving a reading question a day within a time limit. Get accustomed to the language used and the types of questions included in standardized tests.  
リーディング問題を 1 日 1 問、制限時間を決めて解く習慣を身につける。標準テストで用いられる表現や設問のタイプに慣れるようにする。
5. Study vocabulary words using the Academic Word List (*Oxford Preparation Course for the TOEFL iBT™ Exam*, p. 621-641 or the *Inside Reading* series). Learn common prefixes and suffixes using Common Word Parts and Meanings (*Oxford Preparation Course for the TOEFL iBT™ Exam*, p. 615-619).  
Academic Word List (*Oxford Preparation Course for the TOEFL iBT™ Exam* の 621~641 ページまたは *Inside Reading* series) を用いて、ボキャブラリーを学習する。また、Common Word Parts and Meanings (*Oxford Preparation Course for the TOEFL iBT™ Exam* の 615~619 ページ) を用いて、主な接頭辞と接尾辞を学習する。  
例：
  - a. The word root *alter* means *other*. Examples of words with this root are *alter* and *alternative*.  
*alter* という語根の意味は *other* である。この語根を持つ単語には、*alter* や *alternative* がある。
  - b. The word root *aqua* or *aque* means *water*. Examples of word with this root are *aquatic* and *aqueduct*.  
*aqua* または *aque* という語根の意味は *water* である。この語根を持つ単語には、*aquatic* や *aqueduct* がある。
6. Find out your weak areas in English and intensively work on them.  
自分が苦手とする分野を見つけて、そこを重点的に学習する。

## ■ テスト対策につながる授業での具体的な指導

文部科学省の新学習指導要領に示されているように、高校の英語の授業では、4技能を統合した形で指導することになっている。とはいえ、情報のインプットとしてのリーディングやリスニングの役割や重要性は大きい。教材に応じた効果的なリーディングやリスニングができなければ、アウトプット活動であるスピーキングやライティングが効果的に学習できないからだ。ここでは、リーディングやリスニング対策として、授業中にどのような指導ができるか探してみよう。

## ■ テストに役立つリーディング・ストラテジーの指導

TOEFL や大学入試センター試験では、さまざまなスタイルや内容の英文を短時間で効率よく読み取ることが必要である。下記のようなリーディング・ストラテジーを日頃のリーディング指導に組み入れることで読解力向上に大きな効果があることが研究によって明らかになっている。

効果的なリーディング・ストラテジー (Select Readings Intermediate より引用)

1. Read comprehension questions first to look for specific information that you will need to answer the questions.  
リーディング問題は先に設問に目を通して、本文の中から答えに必要な情報を探す。
2. Skim to get a general idea about the text or to identify the main ideas in the text.  
スキミングを行って、その文章の全体像を把握し、要点を明らかにする。
3. Scan to find a specific fact, to find a specific word, or to answer a specific question.  
スキヤニングを行って、設問の解答に必要となる特定の事実や言葉を探す。
4. Read the title and headings to get the important points the author is making.  
題や見出しから、書き手が言おうとしている要点を把握する。
5. Focus on the first and last sentence of each paragraph to understand the main point of the paragraph.  
各パラグラフの最初と最後の文に注目し、パラグラフごとの要点を理解する。
6. Focus on the first and last paragraphs of the text to understand the main point of the text.  
文章の最初と最後のパラグラフに注目し、文章全体の要旨を理解する。
7. Use context clues to guess the meaning of unfamiliar words.  
未知の単語については、文脈からその意味を推測する。
8. Learn how to distinguish facts from opinions.  
事実と意見の違いを見分ける方法を身につける。
9. Identify supporting ideas to help understand the author's main point.  
書き手の主張を理解するため、その裏づけとなる考えを特定する。
10. Learn how to make inferences and draw conclusions about the text.  
述べられている情報から推測して結論を導き出す方法を身につける。

## ◇ リーディング・ストラテジーの指導例

We are going to learn how to read a text quickly. We can use skimming and scanning to help answer some exam questions. First read the explanation on page 28 of *Select Readings*.

「今日は文章を素早く読む方法を学習します。スキミングとスキャニングという方法を使えば、試験問題に効率よく解答できるようになります。まずは、*Select Readings* のページ 28 の説明を読みましょう」

### Skimming and Scanning

Skimming and scanning are techniques for getting different kinds of information from a reading passage. We *skim* a text to get a *general idea* about the text. We *scan* a text to find *specific information* in a text.

Skimming	Scanning
<b>Purpose:</b> <ul style="list-style-type: none"><li>• to get a general idea about the text</li><li>• to find out what the text is about</li><li>• to identify the main ideas in the text</li></ul>	<b>Purpose:</b> <ul style="list-style-type: none"><li>• to find a specific fact</li><li>• to find a specific word</li><li>• to answer a specific question</li></ul>
<b>How to do it:</b> <ul style="list-style-type: none"><li>• Don't read every word. Let your eyes "skim" quickly over the text.</li><li>• Read the title and subheadings.</li><li>• Read the introduction or first paragraph.</li><li>• Read the first and last sentence of each paragraph.</li><li>• Read the last paragraph.</li></ul>	<b>How to do it:</b> <ul style="list-style-type: none"><li>• Think about the likely form of the answer to the question. Will it be a number, a date, a person's name?</li><li>• Ask yourself the question repeatedly as you move your eyes quickly over the text.</li><li>• Move your eyes quickly over several lines at a time.</li></ul>

*Select Readings, Second Edition, Intermediate p. 28*

In fact, when you read passages in Japanese, you use these two strategies depending on the type of text and the purpose of your reading.

「実際に、みなさんが日本語で何かを読むとき、すでにこの2つの方法を使っています。ただし、どんなタイプの文を読むのか、何を目的として読むのかによって変わってきます」

When do you use skimming, Makoto? (Makoto: When I read a newspaper and...) Good, you don't read a newspaper article word by word, but you skim the important points.

「マコト、どんなときにスキミングしますか？(マコト：新聞を読むときとか……) そうですね。新聞は1語1語読まずに、要旨をつかむように読みますね」

Then, when do you use scanning, Masaru? (Masaru: When I want to find the meaning of words in a dictionary and to find someone's phone number or email address in the address book of a cell phone.) Yes, we scan a text when we want to find out specific information as soon as possible. You can use these strategies when you are solving reading questions...

「それでは、スキャニングをするのはどんなときですか、マサル？(マサル：辞書で言葉の意味を調べるときとか、携帯のアドレス帳で電話番号とかメールアドレスを調べるときです) そう、必要な情報をできるだけ早く知りたいときスキャニングをしますね。この2つの方法は、読解問題を解くときに役に立ちます」

ここで、スキミングやスキャニングを行う際に、他のストラテジーも合わせて効果的に用いられることを上記ページ 28 の表を用いて説明する。

When you want to skim, you can use other strategies together, such as reading the title and subheadings, reading the first and last sentences of each paragraph, and reading the first and last paragraphs of the text to get the main points.



「スキミングは、他のさまざまなストラテジーと合わせて使うことができます。たとえば、題と見出しを読む、各パラグラフの最初と最後の文を読む、最初と最後のパラグラフを読むことによって全体の要旨を把握する、などの方法です」

For scanning, you read the comprehension questions first and then look for specific information to answer the questions, such as dates, people's names, times and years, and reasons.

「スキミングの場合は、まず読解問題の設問に目を通してから、その答えとなる特定の情報（日付、人名、時期、理由など）を文の中から探します」

In fact, when I taught my previous students to read the comprehension questions first and then to scan the information, they improved their reading skills, got high scores on the reading section of the University Center Exam, and grew their confidence in reading. So trust me, and practice using them!

「実際に、以前教えていた生徒に、設問を読んでからスキミングで情報を探すようにと言ったところ、多くの生徒の読解力が向上し、大学入試センター試験の読解問題のスコアもアップしました。さらに、読むことに対して自信が持てるようになったとも言っていました。ですから、みなさん、私の言うことを信じて、このような方法を練習してみましょう!」

そのあと、*Oxford Preparation Course for the TOEFL iBT™ Exam* の問題（たとえば、ページ 404~407 Complete Test 1: Reading）を用いて、実際に、スキミングとスキミングを使って問題を解いてみることによって、そのようなストラテジーが有効であることを実感させる。

I'll hand out a copy of a TOEFL reading question. Read it and answers the questions in ten minutes.

See how you can apply skimming and scanning strategies.

「これから TOEFL の問題の一部を配ります。10 分間で問題文を読んで設問に答えてください。そして、スキミングとスキミングがうまくいくかどうか見てみましょう」

問題を解き終わったら、答えあわせとともにうまくスキミングやスキミングを使うことができたかどうか確認する。

Now I think you understand how effective skimming and scanning are. Try to use them when you are answering reading questions for the University Center Exam and the TOEFL test. You can read faster and you may even enjoy answering the questions. When you get a handle on reading using skimming and scanning, you will be a good reader.

「さあ、みなさん、スキミングとスキミングの効果がよくわかったのではないのでしょうか。大学入試センター試験や TOEFL の読解問題を解くときに、ぜひ使ってみてください。速く読めるようになるだけでなく、問題を解くのが楽しくなりますよ。スキミングとスキミングがうまくできるようになったら、読む力もアップします」

学期末試験直前になって多くのことを詰め込むより、学期期間中を通して  
レッスン内で定期的に評価を行うようにしましょう。

Kaj Schwermer — 須磨学園中学校・高等学校

## ■ テストに役立つリスニング・ストラテジーの指導

リーディングと同様に、TOEFL や大学入試センター試験で出題されるリスニングでは、さまざまな内容や形式 (monologues, dialogues など) の英文の内容を正確に聞き取ることが重要である。そのためには、日頃からリスニング活動を多く取り入れて英文に慣れさせておくとともに、次のようなリスニング・ストラテジーの指導を組み入れることも大切である。特に、リスニングの苦手な生徒は、1 語 1 語すべてを聞き取ろうとして全体の意味が理解できなくなることが多い。また英語力の問題とは別に、英語でのリスニング活動はかなり集中力を必要とするため、生徒は緊張と不安を抱きやすいものである。

### ◇ 効果的なリスニング・ストラテジー

1. Read comprehension questions first and think about the specific information they ask for, such as a person's name, a number, a reason, and so on.  
設問を先に読み、何について(例:人名、番号、理由など)問われるのかを理解する。
2. Learn how to infer information that is not clearly stated.  
明確に述べられていない事柄を推測できるようにする。
3. Read the title and look at any graphs and tables to predict the main points.  
タイトルや図表を見ることによって、話の要点は何かを予測する。
4. Listen for the first sentence of each statement because it can be the main topic of the passage.  
それぞれの文章の最初の文は、その問題の主題を示していることが多いため、特に注意して聞く。
5. Pay attention to the tone of voice, pauses, and intonation because they tend to convey the speaker's intention and emotion.  
声色、文の区切り方、イントネーションは話し手の意図や気持ちを表していることが多いため、注意して聞く。
6. Listen carefully to the last sentence because it may give a good conclusion for the passage.  
最後の文は結論を言い表していることが多いため、注意して聞く。
7. Guess the meaning of unfamiliar words from the context.  
未知の語句の意味は文脈から推測する。
8. Take brief notes about the sequence of events, specific numbers, and place names.  
出来事の流れ、特定の数字や番号、場所の名前などはメモしておく。
9. Listen carefully for discourse markers, especially those indicating contrast such as *however*, *whereas*, *while*, *on the other hand*, and *but*, and those indicating logical connection such as *therefore*, *and so*, *that's why*, and *for that reason*.  
ディスコースマーカー(談話標識)に注意して聞く。例えば、*however*、*whereas*、*while*、*on the other hand*、*but* のように対比を表わすものや、*therefore*、*and so*、*that's why*、*for that reason* など論理的なつながりを示すものが聞こえてきたら注意する。
10. Pay attention to words and expressions that indicate negation, such as *not*, *never*, and *hardly*.  
*not*、*never*、*hardly* など、否定を表す語句や表現に注意する。

# ■ 大学入試センター試験および TOEFL の対策 授業中に利用できる活動

1. さまざまな過去問題を見て、どのような内容の問題が出題され、どのくらいの英語力や語彙力が必要とされるか分析することが大切であることを説明する。

First, you need to take a look at past University Center Exam questions and TOEFL questions to analyze what types of questions are given, what the common topics are, and what proficiency and vocabulary levels they require you to answer correctly.

「まず、大学入試センター試験や TOEFL の過去に出題された問題を見て、内容を分析します。どんなタイプの問題が出題されているか、よく扱われるトピックは何か、どの程度の英語力や語彙力が必要かなどを考えてみましょう」

2. 大学入試センター試験および TOEFL の問題をクラスで分析する。教師の説明を聞いただけでは学習を始めない生徒が多いため、自ら取り組み、テストのレベルを実感するとともにその対策に関して考えさせることが大切である。また、日頃のリーディングやリスニングの授業で学習していることがいかに応用できるかについても考えさせ、それらを効果的に利用して対策を講じさせることも重要である。

- a) 大学入試センター試験および TOEFL の問題の一部を配り、制限時間を設けて各自解かせる。

I've brought copies of some sections of the University Center Exams and TOEFL test materials. First, answer the questions as if you were taking the test. You have 40 minutes. While you're answering, think about how you can prepare for these types of questions.

「今日は大学入試センター試験と TOEFL の問題の一部を持ってきました。まずは、実際に受験するつもりで問題を解いてください。時間は 40 分です。問題を解きながら、それぞれの設問に対してどんな対策ができるかを考えましょう」

- b) 小グループで、テストのレベル、対策方法そして問題を効率よく解く戦略などについて話し合わせる。この間教師は各グループを巡回し、活動を確認したり話し合っしてほしい点に議論を導いたりする。難しいようであれば、日本語で議論させてもよい。

Next, make small groups and discuss how you can tackle these tests. How would you prepare for them and what kinds of strategies are effective in solving these questions? One group member will report the group's opinions.

「次に、少人数のグループに分かれて、これらのテストにどうやって取り組んだらよいか話し合ってください。具体的には、どんな対策が必要か、問題を効率よく解くためにはどんな方法が効果的かということについて考えてください。話し合ったあとで、代表者にグループの意見をまとめて報告してもらいます」

- c) テストのレベルと効果的な対策について各グループに報告してもらおう。

Now, please report back how you would prepare for the tests and any strategies you can use for answering the questions.

「それでは、どんな対策をするのか、どんな方法が効果的か発表してください」

以上のように各グループの考えを報告してもらい、それを教師がホワイトボードにまとめる。このとき、日頃の勉強法や実際に問題を解く方法(リーディング・ストラテジーやリスニング・ストラテジーなど)についてもまとめておくとよい。最後にそれらの情報をまとめてハンドアウトにして配布し、実際に授業の中でも利用していくように助言すると効果的である。大学入試センター試験の英語は、英語検定 2 級程度の力があれば解くことができ、日頃の英語の授業も活用できるため、ここでは TOEFL を用いた指導法を紹介しているが、大学入試センター試験や他の試験にも応用可能である。

3. 生徒 1 人 1 人、あるいはグループの生徒にそれぞれ異なった問題を与え、問題を解かせたあと、他の生徒に対して解答の解説をさせる。アメリカのある大学での研究によると、学んだ情報の記憶保持の効果が一番高い学習法は、他の人に教えてみることだという事実が明らかになっている。他の生徒に教えるためには教材をすべて理解し、それをわかりやすく説明するため、深いレベルで何度も読んだり聞いたりしなければならないし、効果的な読み方や聞き方についても考える必要があるからだ。そしてそれが自らのテスト対策に大きく役立つのである。

I will pass out copies of some TOEFL exam questions. What I would like you to do is to first answer all the questions. After that, please choose one of the questions and explain the question and answer as if you were a teacher. Explaining the answer to another student will allow you to analyze and understand the passage and questions at a deeper level.

「TOEFL の問題の一部を配ります。まず、すべての問題に答えてください。そのあと、問題の中から 1 つ選んで、自分が教師になったつもりでその問題とその答えについて解説してください。誰かに解説をすることによって、その問題をより深く理解し分析することができるようになるのです」

## ■ 受験前のアドバイス

最後に、生徒に対する試験前のアドバイスとしていくつか紹介しておく。

1. わからない問題があっても、どれか選択肢を選んで解答用紙に書き込むようにすること。このとき、解答用紙の番号を間違えて書き込まないように注意する。
2. 問題の指示文を落ち着いてしっかり読むこと。自分の推測をもとに勝手に問題を解き始めないこと。指示文は毎回ほとんど同じだが、大学入試センター試験の場合は、年度によって変わることもあるので注意が必要である。
3. 難しい問題に対する自分の解答に迷いがあっても、その問題のことを忘れて先に進むこと。
4. わからない問題に遭遇するとショックを受けるかもしれませんが、気持ちを切り替え先に進むこと。
5. 読解問題に取り組む際は、時々時計を見て時間配分を確認し、すべての問題を落ち着いた状態で読むこと。

成功の鍵は、テストという緊張を伴う状況において、いかに冷静さを保ち、セルフコントロールできるかである。

効果的な試験準備に大切なのは、そのテストの必要条件と内容構成を知ることです。

James Harman — 関東国際高等学校

## 著者プロフィール

---

小野田 榮 神田外語大学

神田外語大学外国語学部英米語学科にて教授を務める小野田榮氏は、15 年以上にわたる英語教員養成や高校での豊富な英語教育の経験を有しています。テンプル大学日本校にて博士号取得。オックスフォード・ティーチャーズ・アカデミー認定教師トレーナー。主な研究分野は、英語教員教育からスピーキング力およびリスニング力の向上、自己調整言語学習の促進まで多岐に及びます。『BBC: Understanding the News in English 10』(ルーシー・クッカー氏との共著。金星堂刊)ほか著書多数。

---

### 参考文献

Nation, I. S. P., & Newton, J. (2009). *Teaching ESL/EFL listening and speaking*. Newcastle, UK: Routledge.

Day, R. & Bamford, J. (2002). Top Ten Principles for Teaching Extensive Reading. *Reading in a Foreign Language* 14 (2). pp.137-140.